

テーマ「市政広報について」

本市では、市政情報を正確かつ迅速に皆さまにお届けするため、広報紙をはじめ、ウェブサイトやSNS、その他のメディアを活用し、情報発信をしています。

広報紙では、注目情報や子育て世帯、シニア向けのカテゴリーに分けた情報や、特集記事として市がお知らせしたい情報を発信してきましたが、スマートフォンの普及とともに、近年ますますインターネットを通じた情報発信の必要性が高まっています。

広報手段の有効性の確認や今後の取組みについて、皆さまのご意見を活用させていただくため、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。（広聴広報課）

調査概要

○調査期間	令和4年9月2日(金)～9月11日(日) (10日間)
○モニター数	360名 (男性 178名 女性 182名)
○回答者数	307名 (男性 156名 女性 151名)
○回答率	85.3%

【分析】

《回答者内訳(人)》

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計
女性	2	10	30	43	42	23	1	0	151
男性	0	5	12	30	40	22	34	13	156
総計	2	15	42	73	82	45	35	13	307

《広報こおりやまについて》

- ・全体の69.4%が「毎月読んでいる」と回答。70代では97.1%が「毎月読んでいる」と回答。（問1）
- ・広報紙を「紙媒体」で希望する方は57.0%、「電子媒体」で希望する方は16.6%、「どちらでも読みたい」方は26.4%であった。（問4）
- ・民間事業者が作成した2022年9月号の特集記事について、他のページとの違いを感じた方は全体の34.2%であった。（問16）

《市ウェブサイトについて》

- ・「よく見ている」「たまに見ている」の合計は67.1%であり、市ウェブサイトを見たことがある方はすべての年代で9割超となった。（問18）
- ・チャットボット機能を利用したことがある方は全体の18.0%であり、「知らなかった」と回答した方は33.2%であった。（問22）

《メディア・SNSについて》

- ・市政に関する情報を収集する手段として最も多かったのは広報紙82.1%、次いで市ウェブサイトが60.6%であった。（問24）
- ・テレビの市政情報番組「週間トピックス」の認知度は約8割である一方、ラジオの市政情報番組の認知度は約2割であり、20代では8割が「知らなかった」と回答した。（問25、26）
- ・市公式SNSで最も認知度が高かったのはLINEの34.2%であったが、そもそも市が公式SNSを配信していることを知らないという回答した方が24.4%いた。（問27）

【考察】

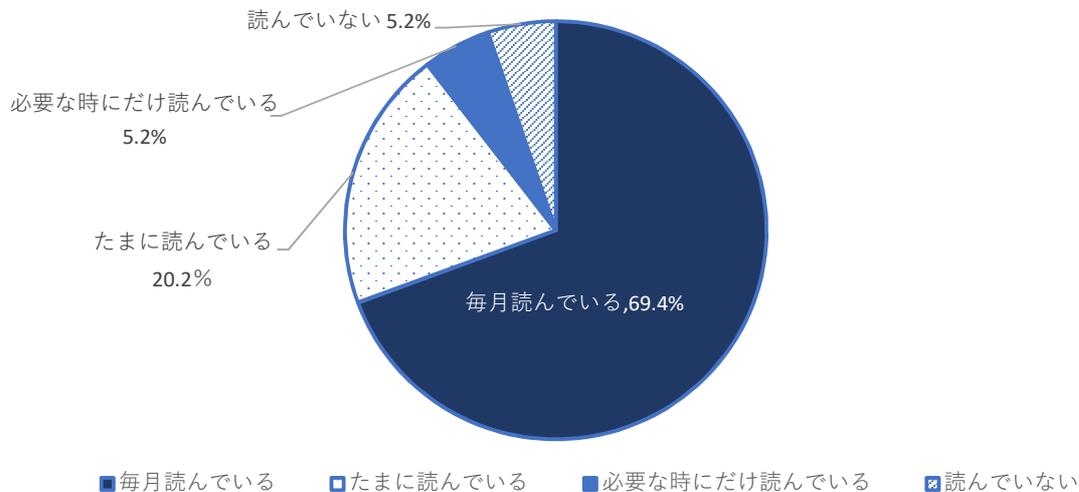
- ・広報紙は多くの方に読まれており、市政に関する情報収集手段として1番多く利用されている。「紙媒体で読みたい」との意見が多いため、今後も紙・電子媒体両方での提供が必要である。
- ・ウェブサイトでは、コロナや防災に関する情報を求める意見が多く、多くの方が共通に求める情報を目立つところに掲載する必要がある。
- ・ウェブサイトがわかりにくいとの意見が半数近いことから、わかりやすさや利便性の向上に努める必要がある。
- ・SNSでの情報発信は、20代から30代の若い世代には「わかりやすい」と思われているが、それ以外の年代では意見が分かれるため、効果的な情報発信の方法を検討する必要がある。

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

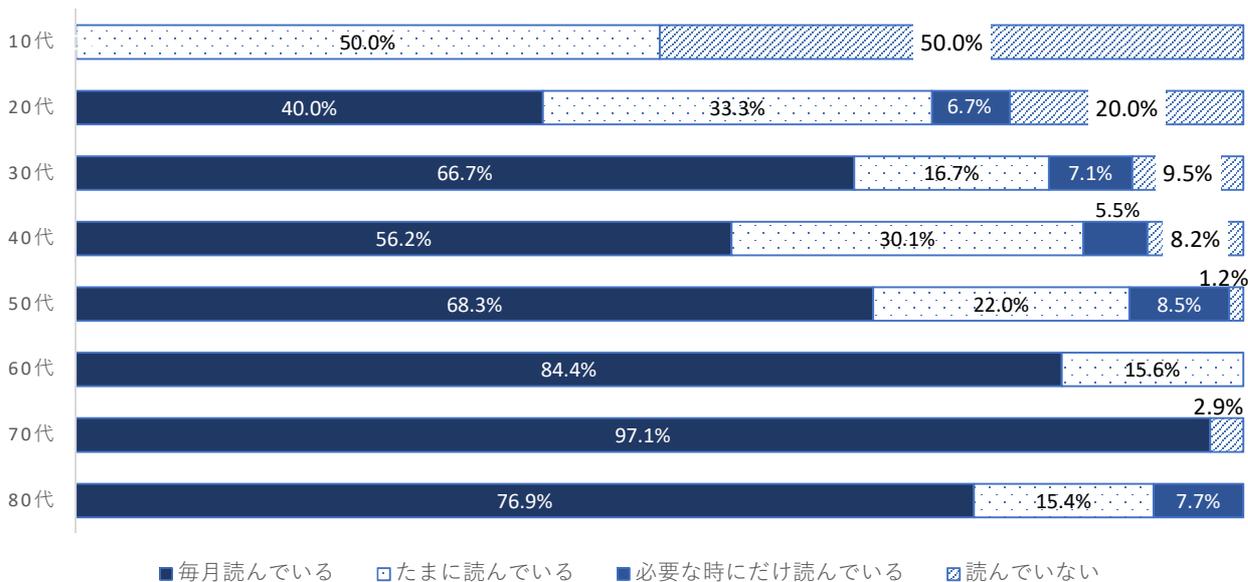
第1章 広報紙全般について

問1 「広報こおりやま」を読んでいますか？（1つ選択）

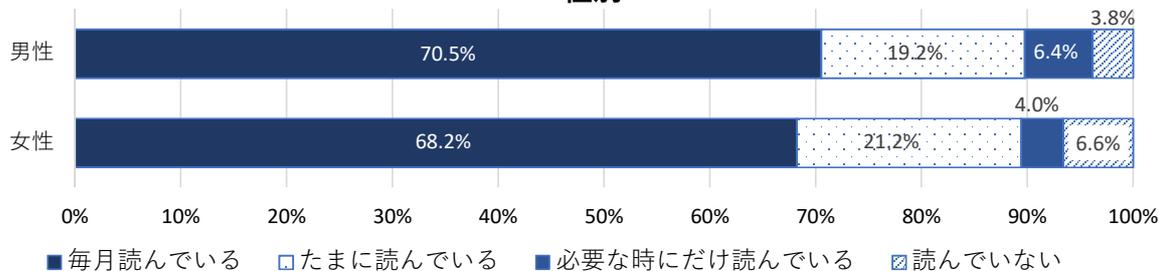
（回答者：307人）



年代別



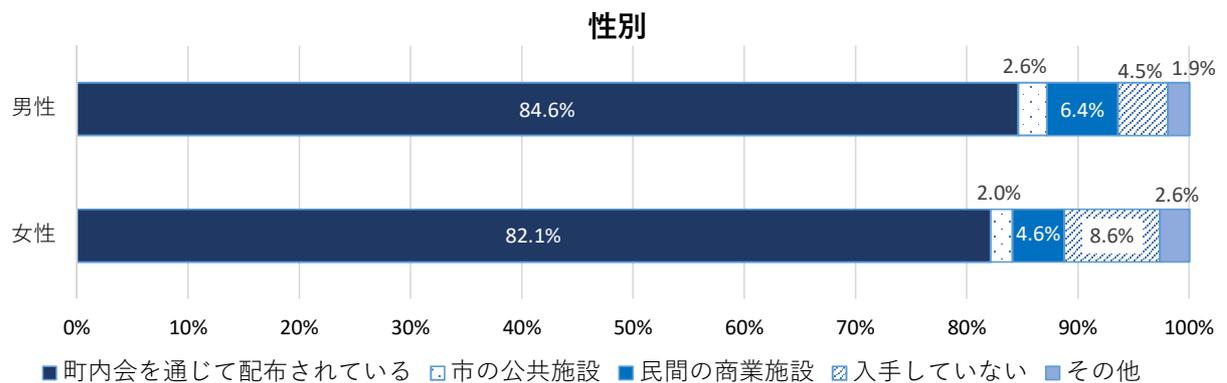
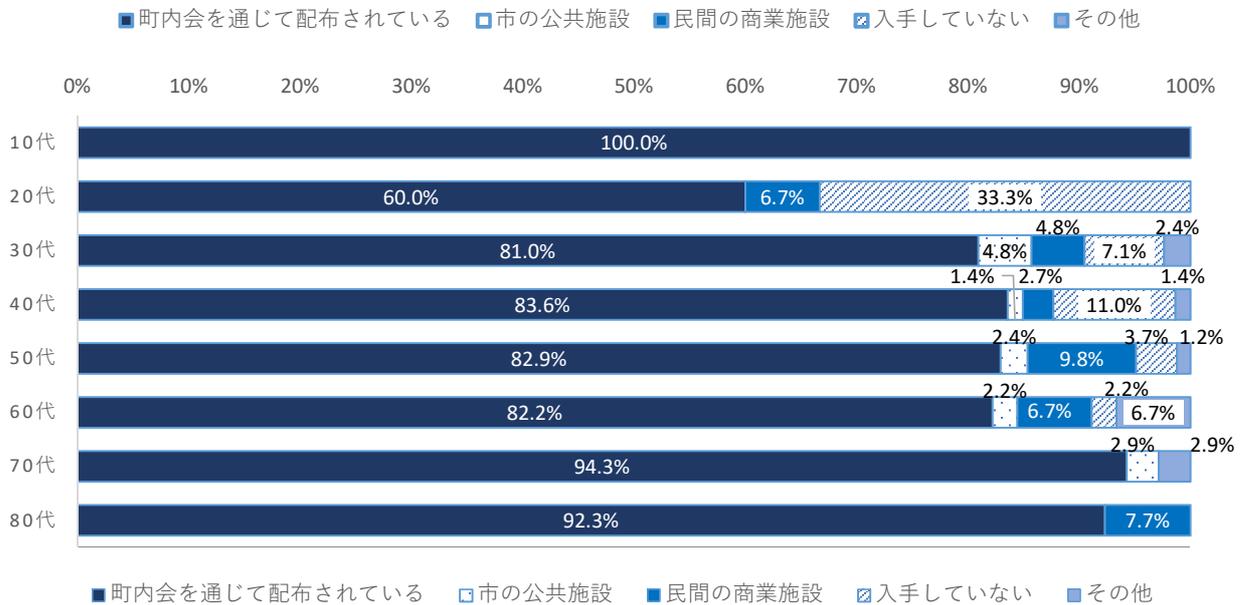
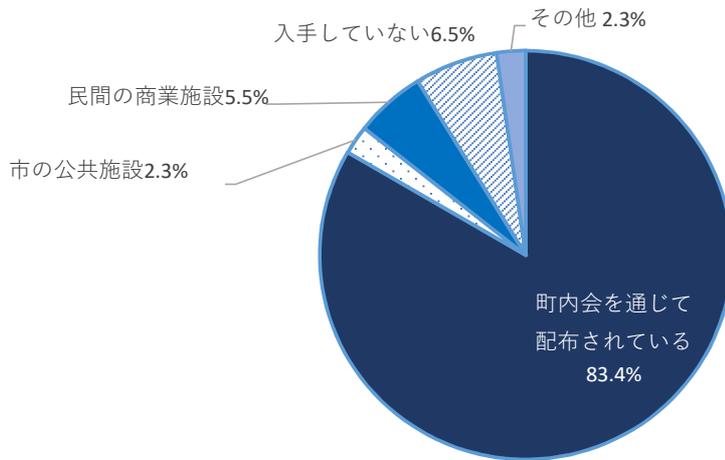
性別



『広報こおりやまを毎月読んでいる』と回答した方は69.4%であった。年代別では70代の97.1%が最も高く、10代を除いたその他の年代でも4割以上が「毎月読んでいる」と回答した。

問2 「広報こおりやま」をどうやって入手していますか？（1つ選択）

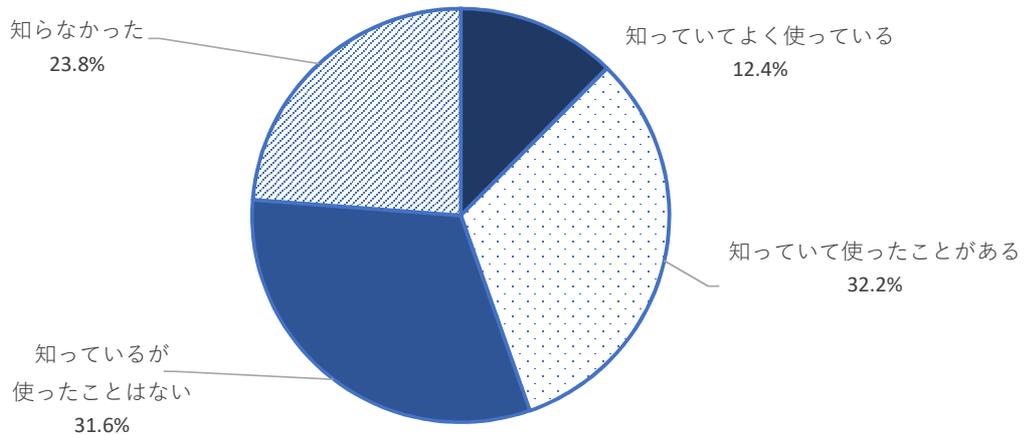
（回答者：307人）



広報こおりやまの入手方法としては『町内会を通じて配布』が最も多く、83.4%であった。

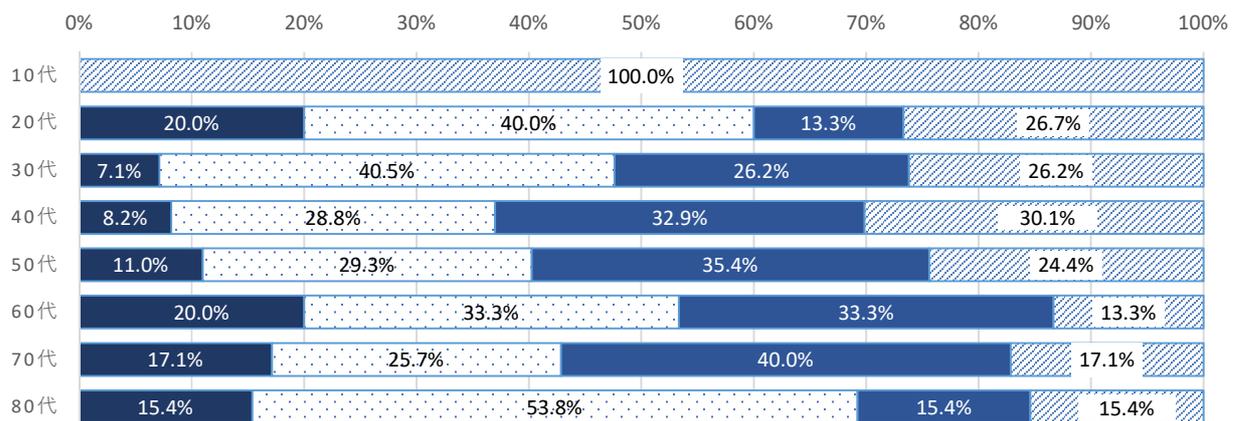
問3 「広報こおりやま」は紙媒体だけでなく、市のウェブサイトやアプリなどの電子媒体でも見ることができていることを知っていましたか？（1つ選択）

（回答者：307人）



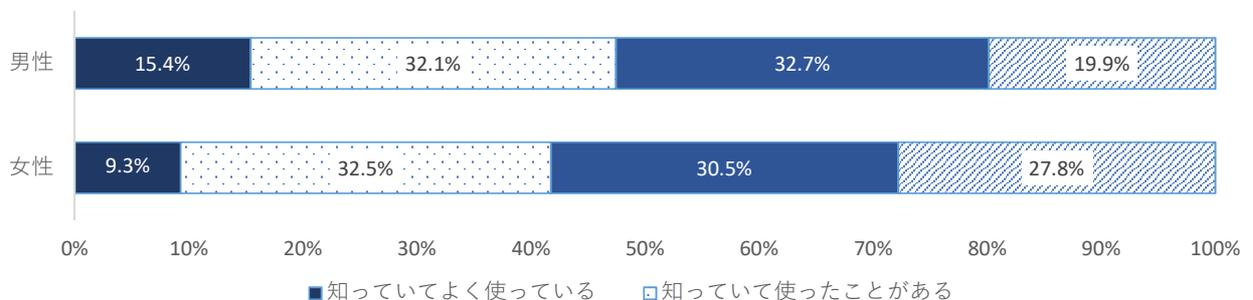
■知っていてよく使っている □知っているが使ったことがある ■知っているが使ったことはない ▨知らなかった

年代別



■知っていてよく使っている □知っているが使ったことがある ■知っているが使ったことはない ▨知らなかった

性別

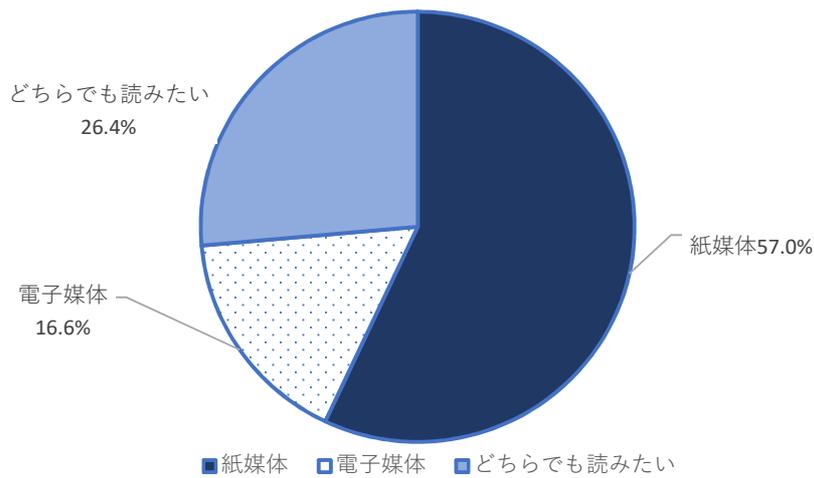


■知っていてよく使っている □知っているが使ったことがある

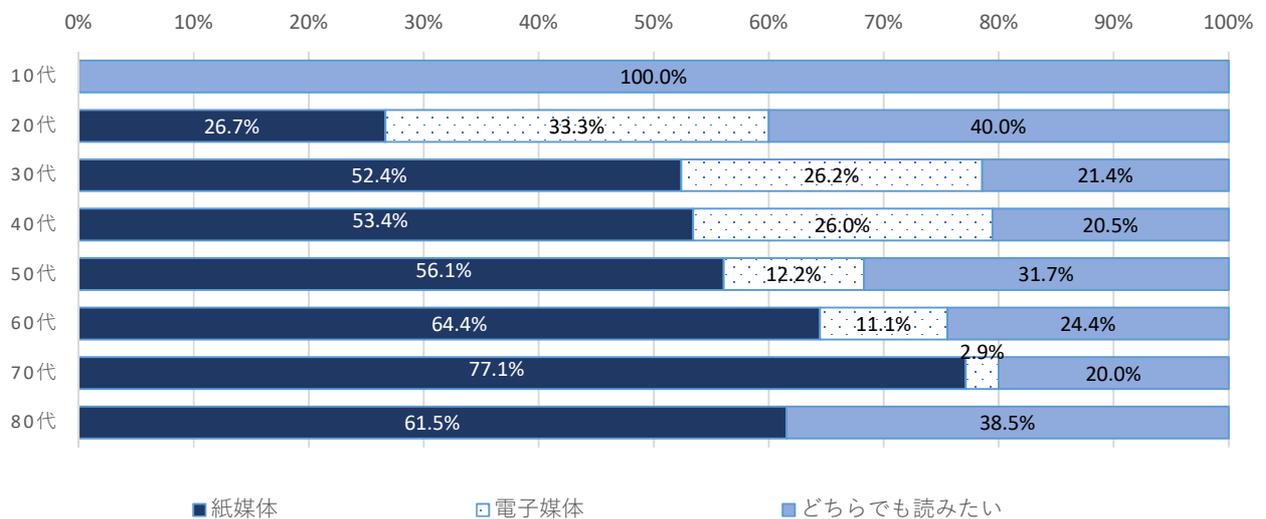
電子媒体の広報こおりやまについては、「知っているが使ったことがある」が最も多く32.2%であったが、23.8%が「知らなかった」と回答した。
『使ったことがある』と回答した方が最も多かったのは80代で、69.2%であった。

問4 今後、「広報こおりやま」を紙媒体と電子媒体のどちらで読みたいですか？（1つ選択）

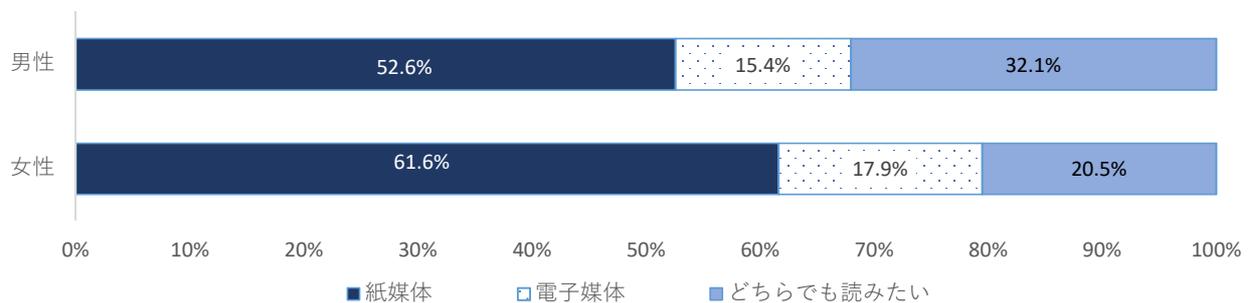
（回答者：307人）



年代別

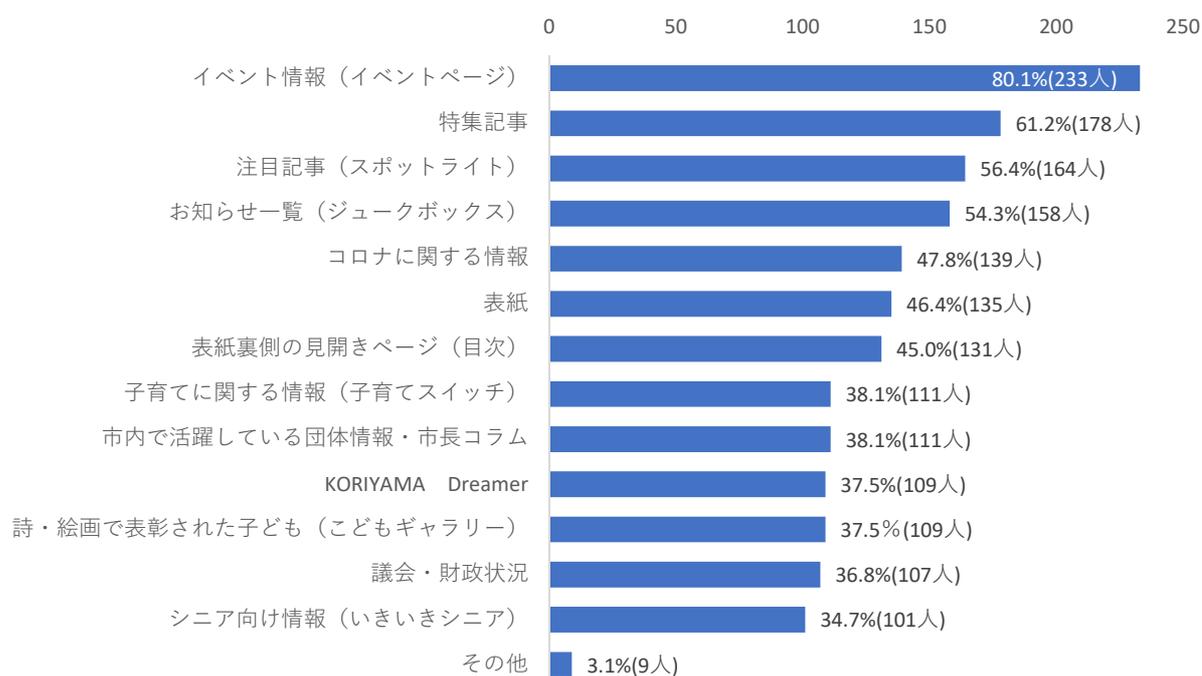


性別



「紙媒体」が57%、「電子媒体」が16.6%であった。問1で97.1%が「毎月読んでいる」と回答した70代では、77.1%の方が『紙媒体で読みたい』と回答している。「電子媒体」の回答が最も多かったのは20代で33.3%であった。

問5 問1で「毎月読んでいる」「たまに読んでいる」「必要な時にだけ読んでいる」を選択した方にお伺いします。「広報こおりやま」のどのページを読んでいますか？（複数選択可）（回答者：291人）



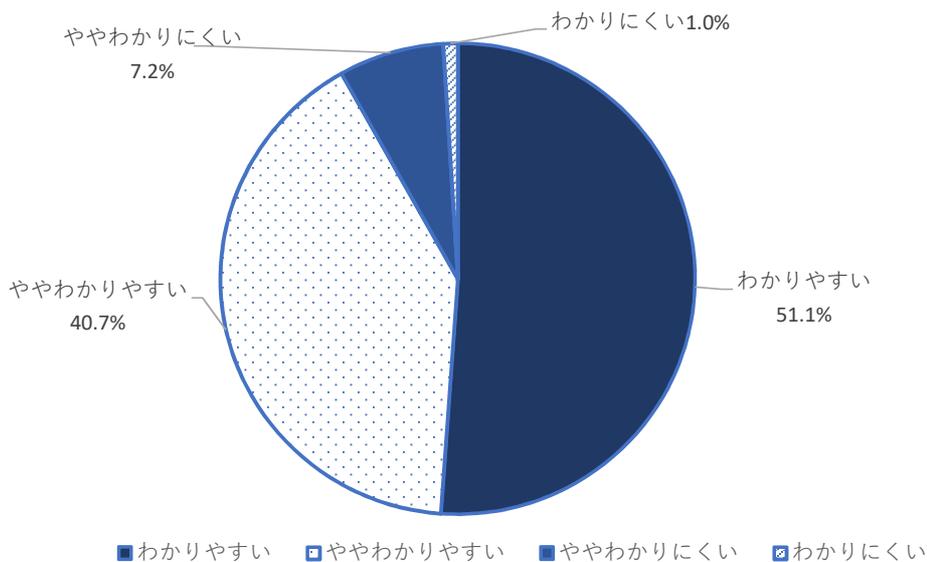
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・休日当番医
- ・必要な部分のみ読む
- ・すべて読む

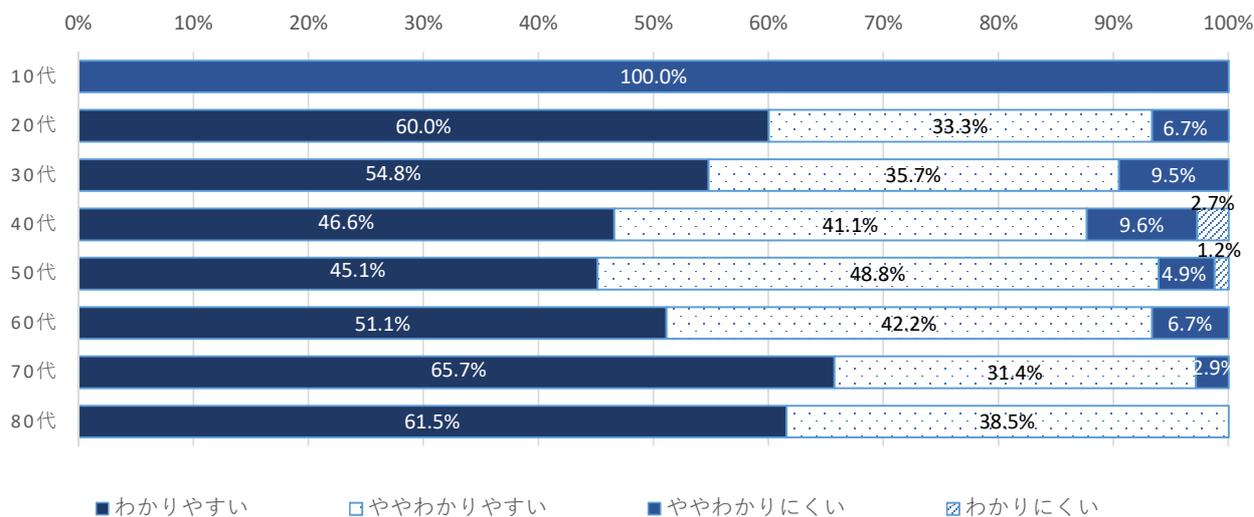
80.1%の方が「イベント情報」と回答。次いで「特集記事」が61.2%であった。

問6 「広報こおりやま」の掲載情報はわかりやすいですか？（1つ選択）

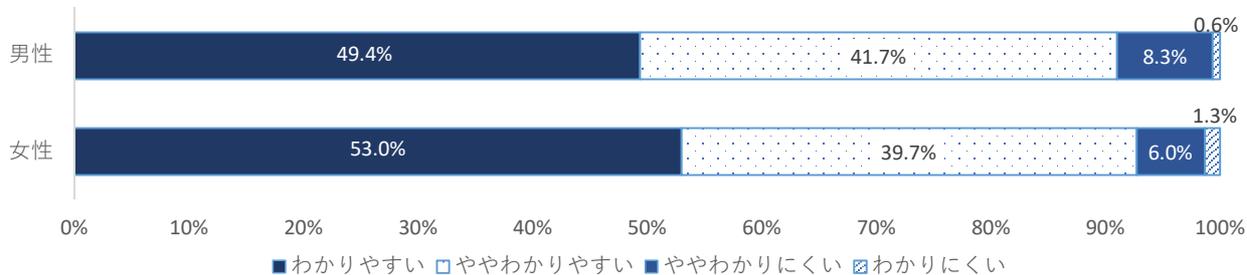
（回答者：307人）



年代別



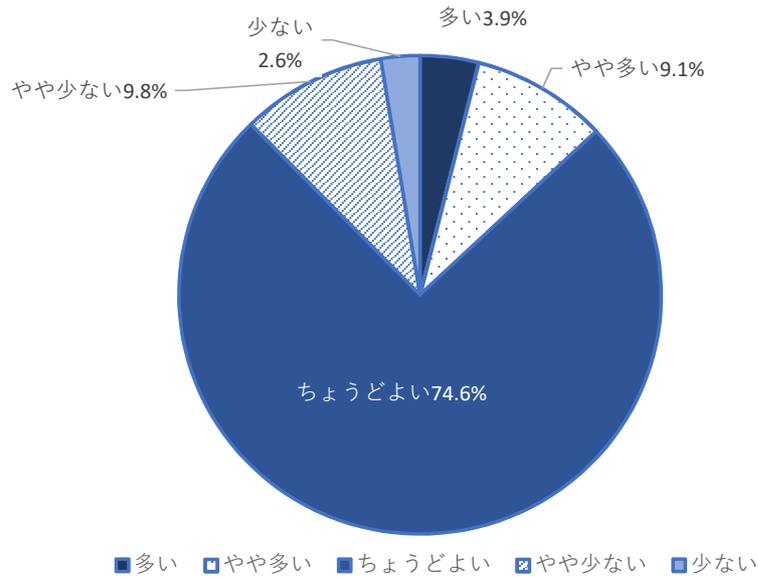
性別



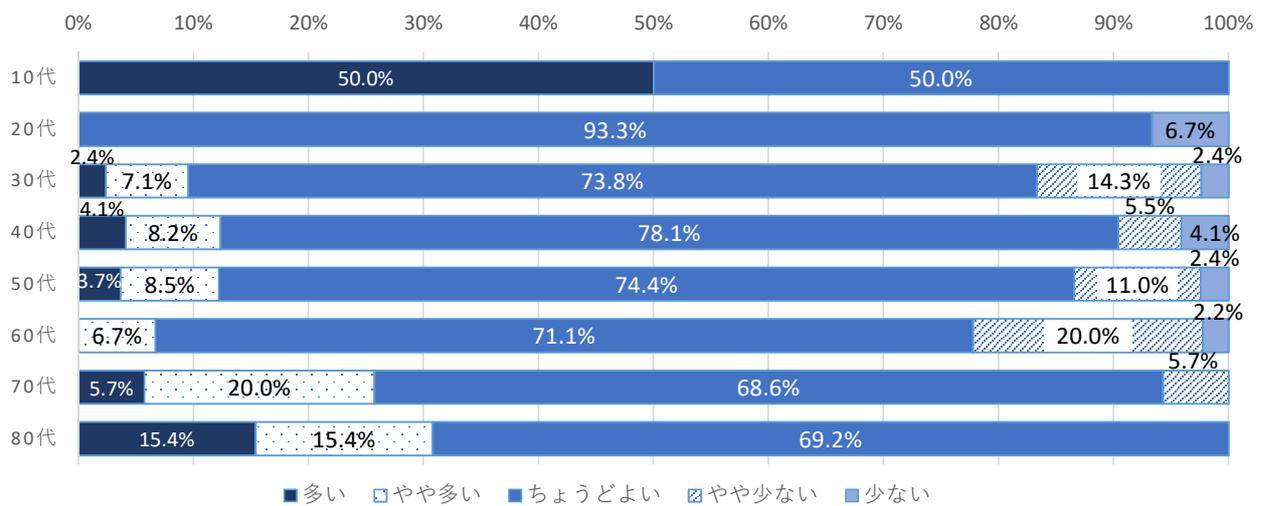
「わかりやすい」「ややわかりやすい」の回答の合計が91.8%であった。20代以上のすべての世代で、45%以上が「わかりやすい」と回答している。

問7 「広報こおりやま」の掲載情報量についてどう思いますか？（1つ選択）

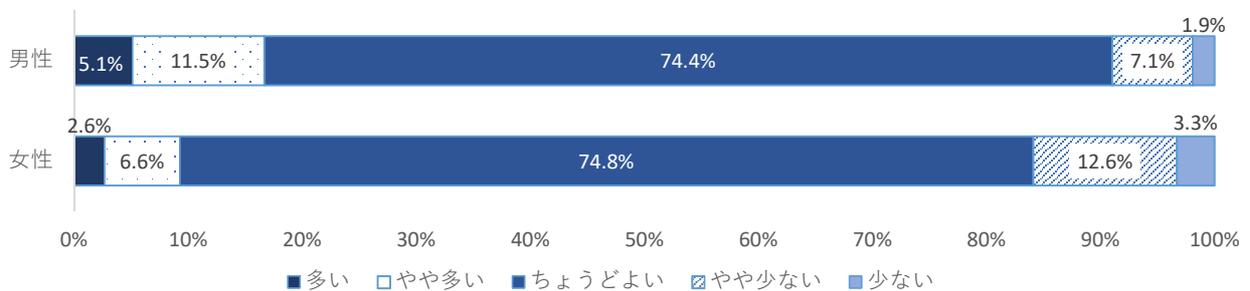
（回答者：307人）



年代別



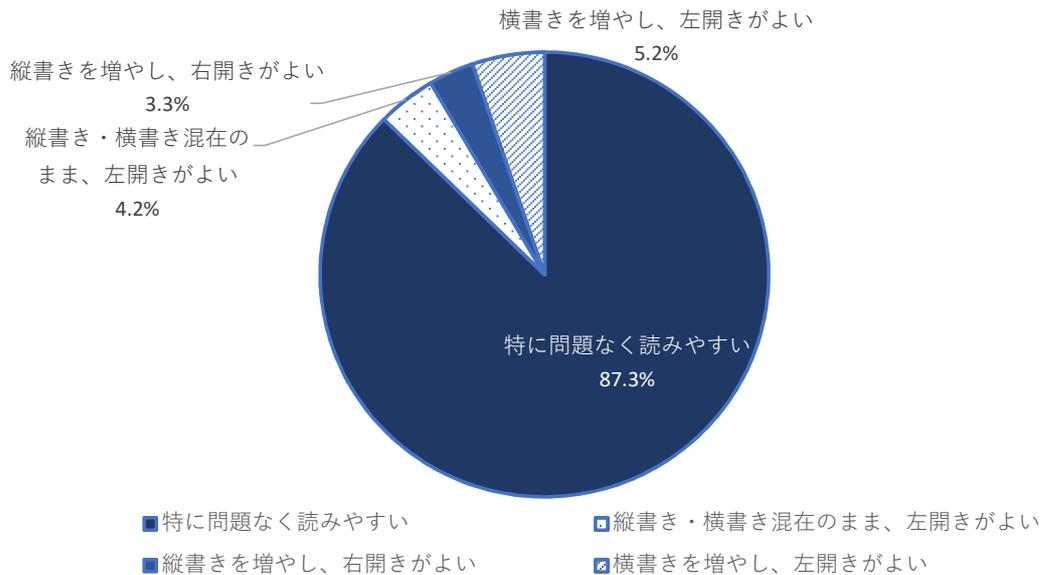
性別



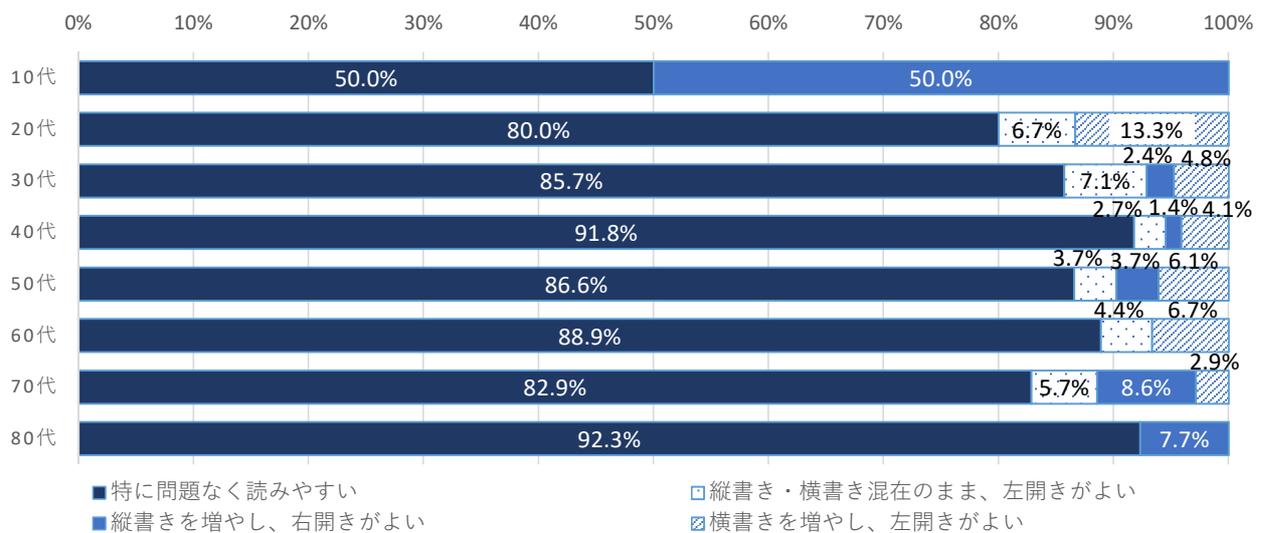
掲載情報の量について「ちょうどよい」が最も多く74.6%であった。年代別では「多い」「やや多い」と回答した方が80代で最も多く30.8%、「やや少ない」「少ない」と回答した方は60代で最も多く22.2%であった。

問8 「広報こおりやま」は、縦書きを前提とした右開きで作成していますが、紙面には縦書きと横書きが混在しています。読みやすさについてどう思いますか？（1つ選択）

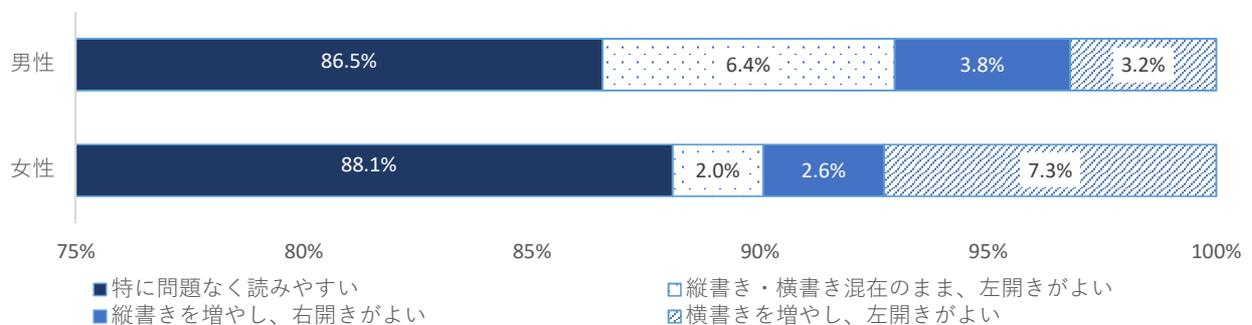
（回答者：307人）



年代別



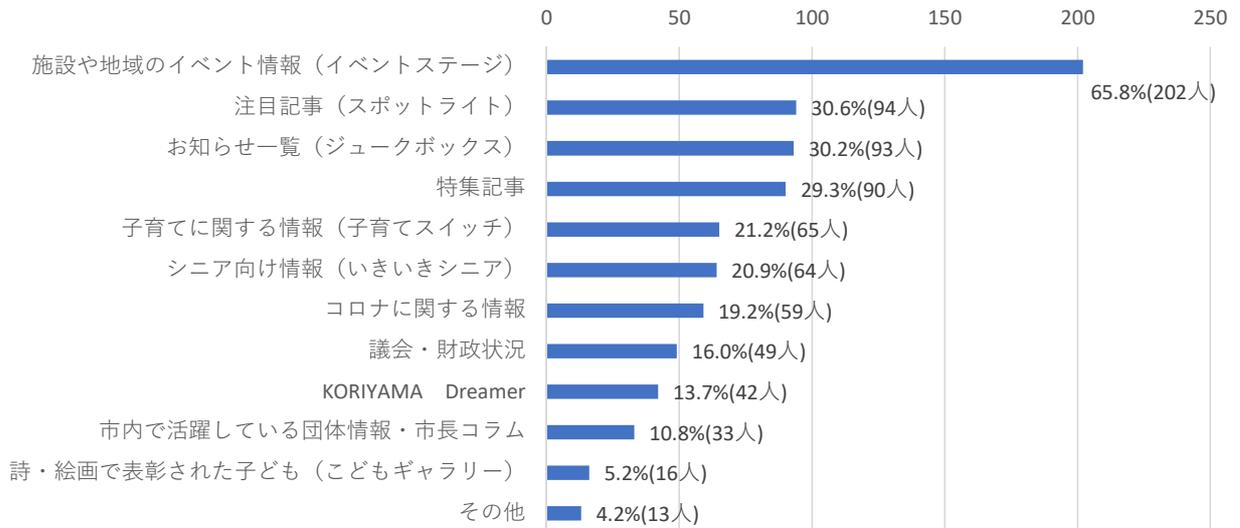
性別



現在の縦書きと横書きが混在で右開きの状態で「特に問題なく読みやすい」と答えた方は87.3%であった。年代別では、70代と80代で「縦書きを増やし右開きがよい」と回答している割合が他の年代よりも多い。

問9 「広報こおりやま」でもっと充実させてほしいページ（コーナー）は何ですか？（複数選択可）

（回答者：307人）



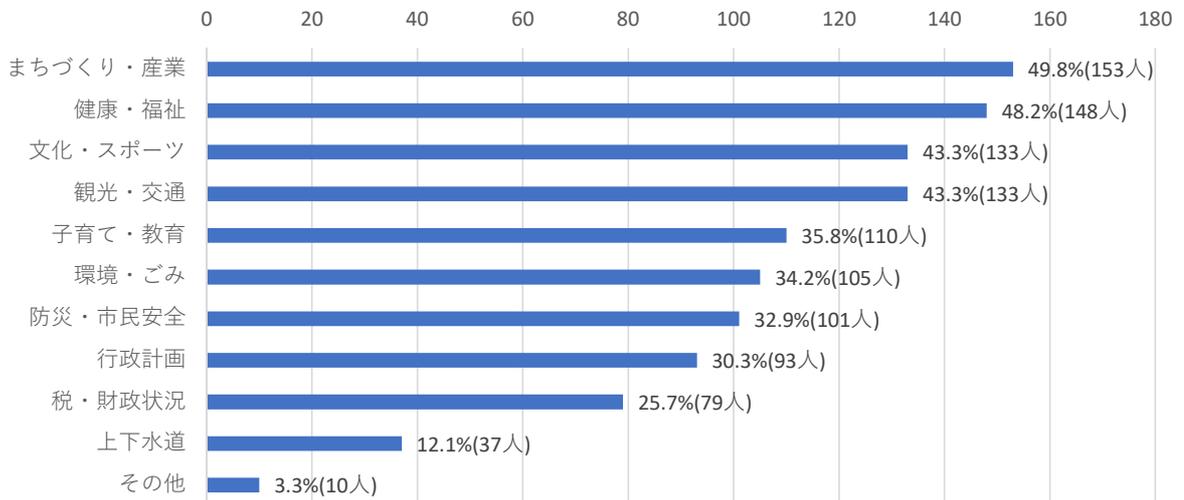
※ 「その他」を選択した方の主な意見

- ・助成金や助けてもらえる制度を、わかり易く継続して載せていただきたい
- ・介護や医療費、高額医療費制度の説明など
- ・各地域公民館の歴史講座などの情報を検索できるようにしてほしい
- ・虐待や離婚問題などで精神的に疲れている方への対応窓口
- ・今のままでよい など

「施設や地域のイベント情報」が65.8%、次いで「注目記事」が30.6%であった。

問10 「広報こおりやま」で情報量を増やしてほしい内容は何ですか？（複数選択可）

（回答者：307人）



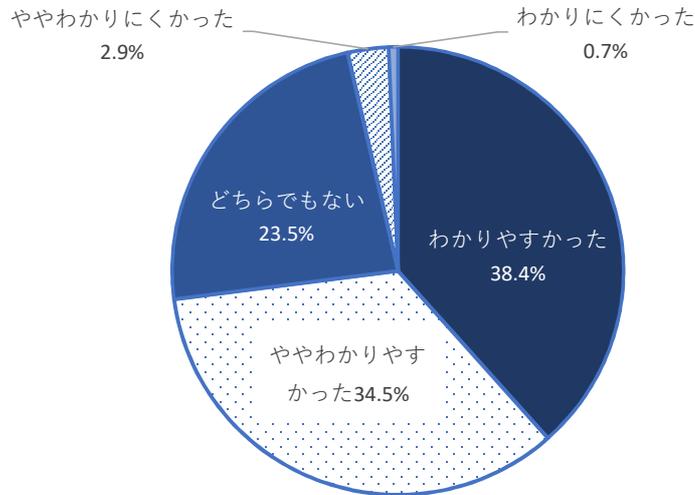
※ 「その他」を選択した方の主な意見

- ・公共施設の予約状況（どういう大会が開催されているとか）
- ・結婚に関する情報、ペットに関する情報
- ・個人事業主やフリーランスに関する情報
- ・市長の政策 など

「まちづくり・産業」が49.8%、次いで「健康・福祉」が48.2%であった。

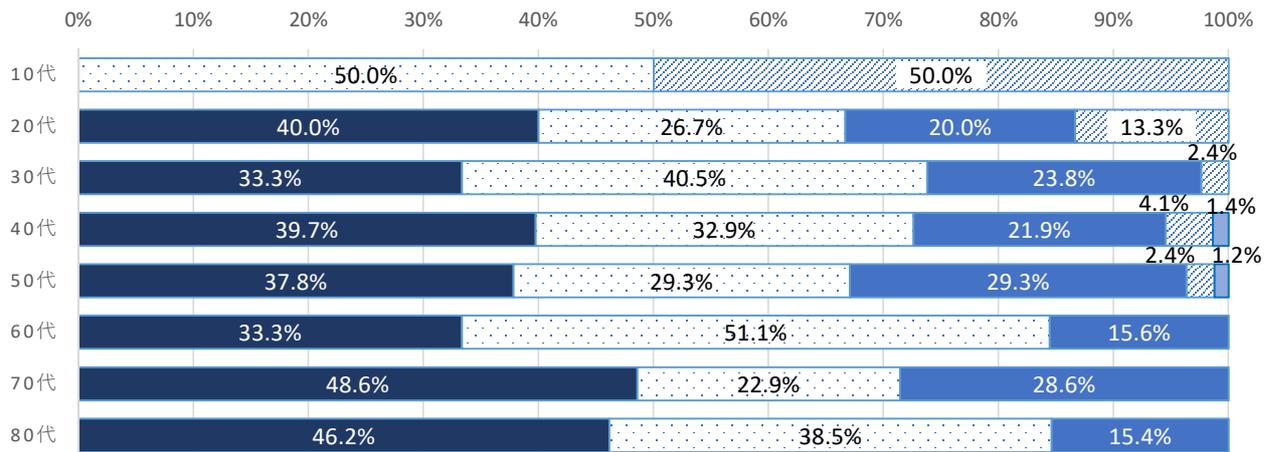
問11 記事はわかりやすかったですか？（1つ選択）

(回答者：307人)



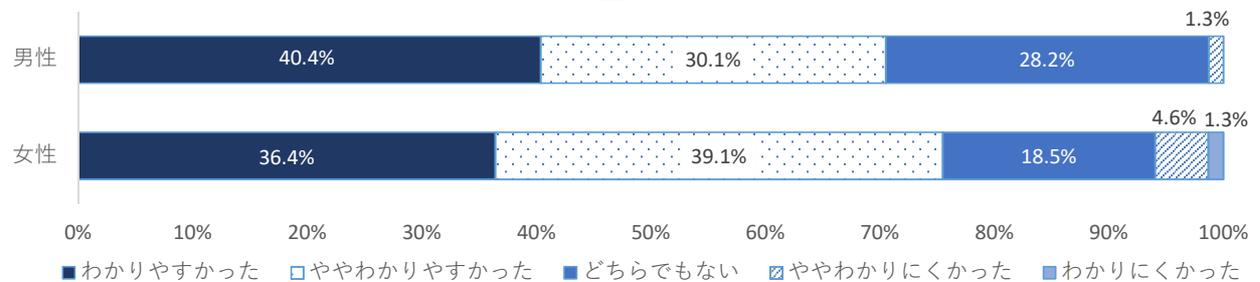
■わかりやすかった □ややわかりやすかった ■どちらでもない ▨ややわかりにくかった ■わかりにくかった

年代別



■わかりやすかった □ややわかりやすかった ■どちらでもない ▨ややわかりにくかった ■わかりにくかった

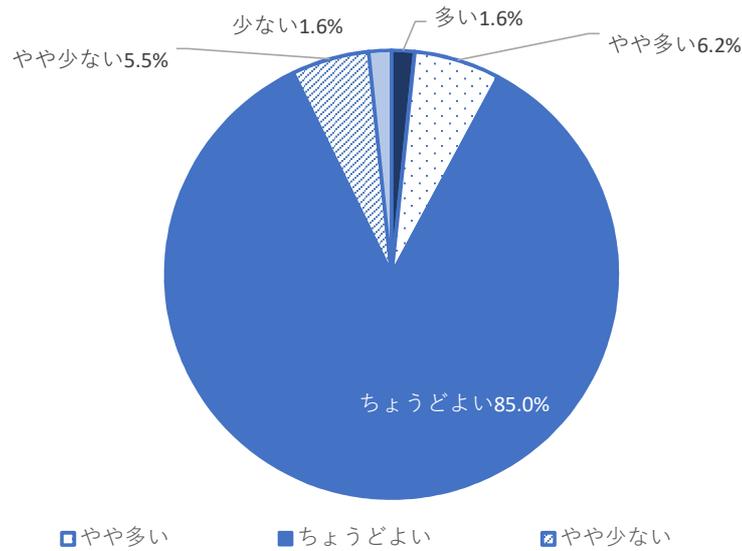
性別



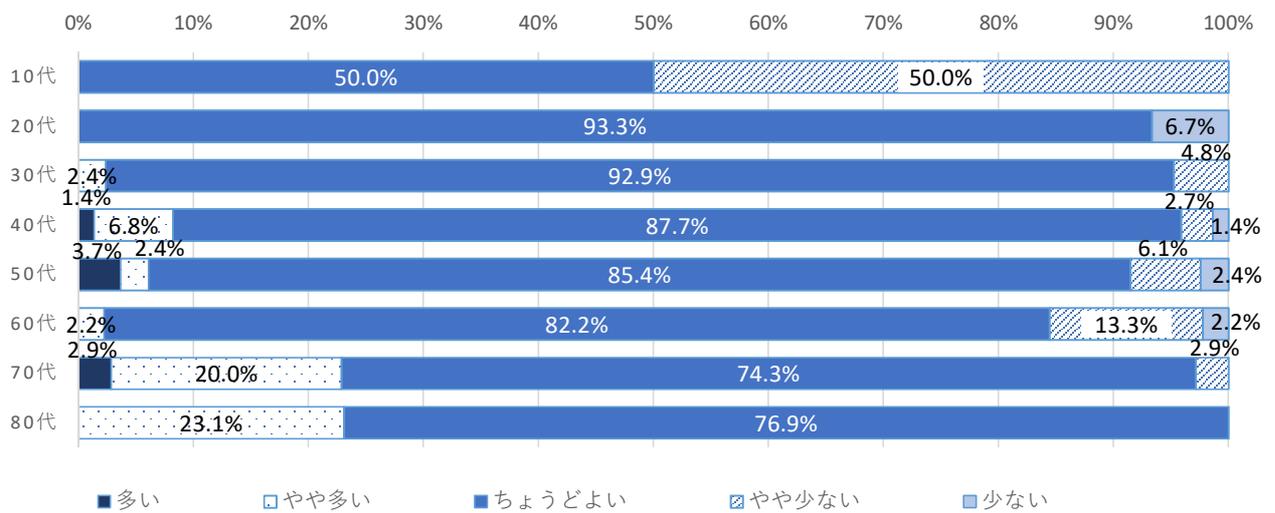
広報こおりやま2022年9月号の特集記事について、38.4%が「わかりやすかった」と回答した。性別で見ると、女性の方が男性よりも『わかりにくかった』と回答した割合が4.6ポイント高かった。

問12 記事のボリュームはどうでしたか？（1つ選択）

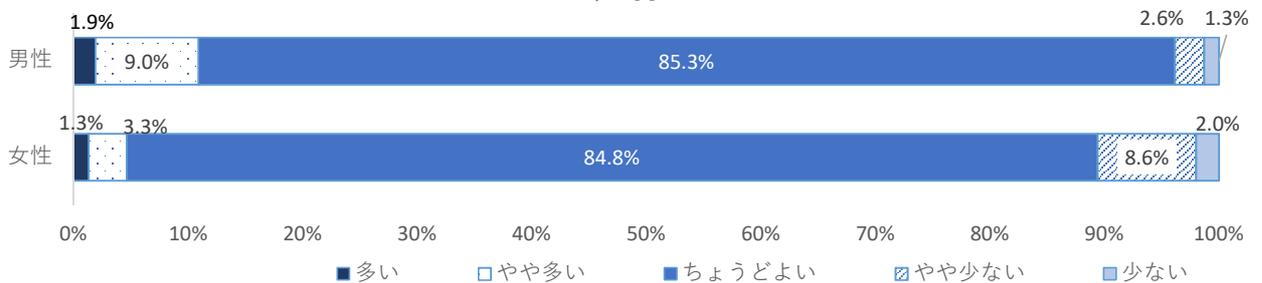
（回答者：307人）



年代別



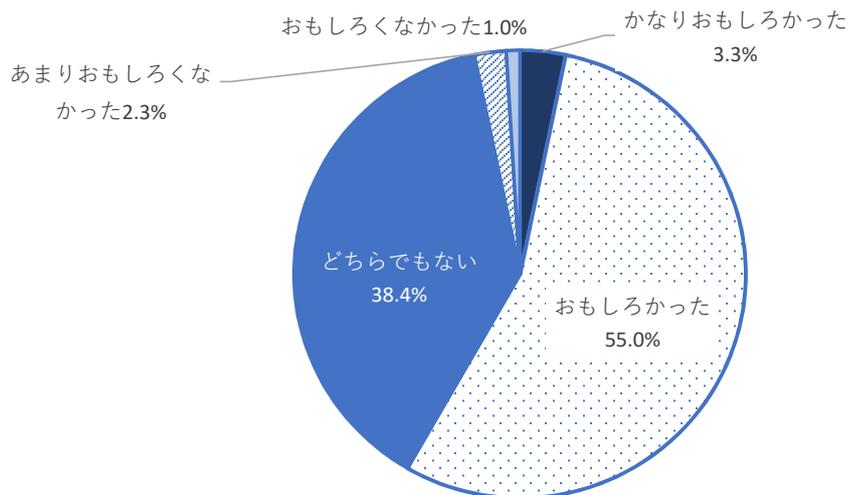
性別



記事のボリュームについて、85%が「ちょうどよい」と回答した。年代別では、70代以上で2割以上が『多い』と回答した一方で、60代の15.5%が『少ない』と回答した。

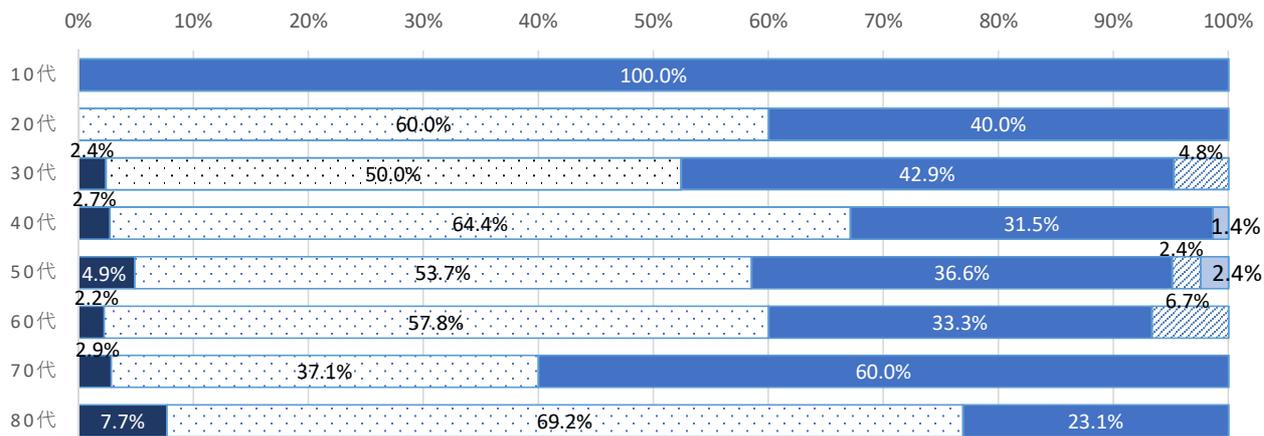
問13 特集はおもしろかったですか？（1つ選択）

（回答者：307人）



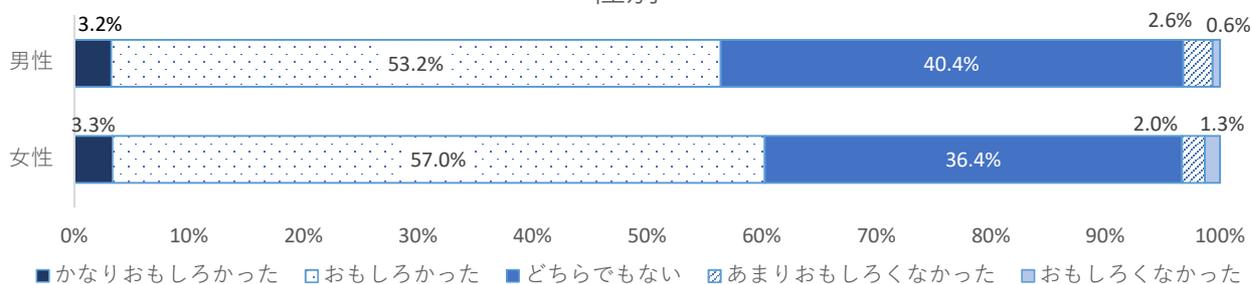
■かなりおもしろかった □おもしろかった ■どちらでもない ▨あまりおもしろくなかった ■おもしろくなかった

年代別



■かなりおもしろかった □おもしろかった ■どちらでもない ▨あまりおもしろくなかった ■おもしろくなかった

性別

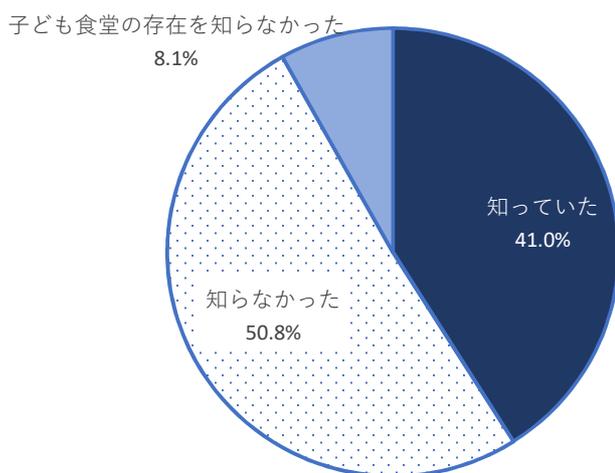


■かなりおもしろかった □おもしろかった ■どちらでもない ▨あまりおもしろくなかった ■おもしろくなかった

特集記事について、58.3%が『おもしろかった』と回答した。年代別では、20代から60代、80代の6割以上が『おもしろかった』と回答した一方で、70代は「どちらでもない」が6割を占めた。

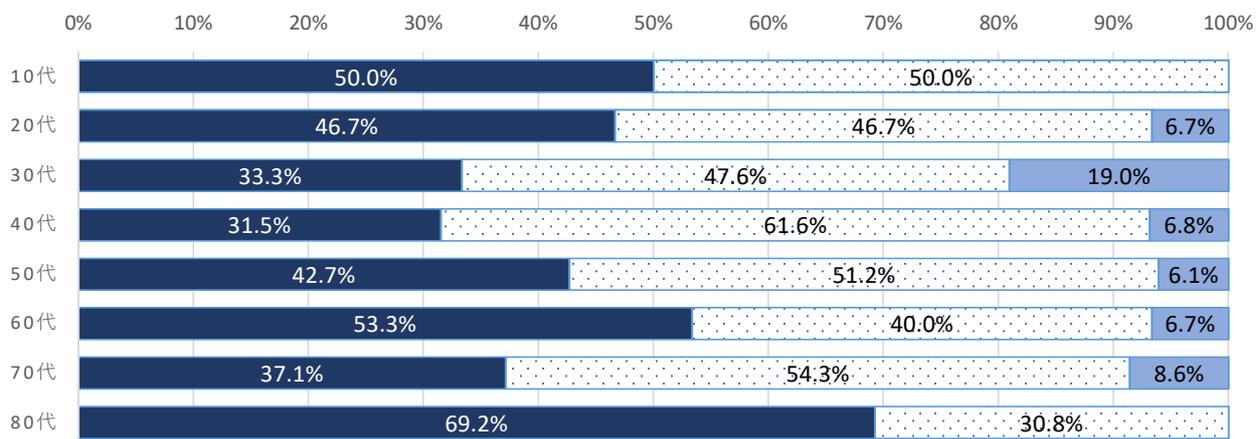
問14 子ども食堂が貧困家庭向けの場所ではないと知っていましたか？（1つ選択）

（回答者：307人）



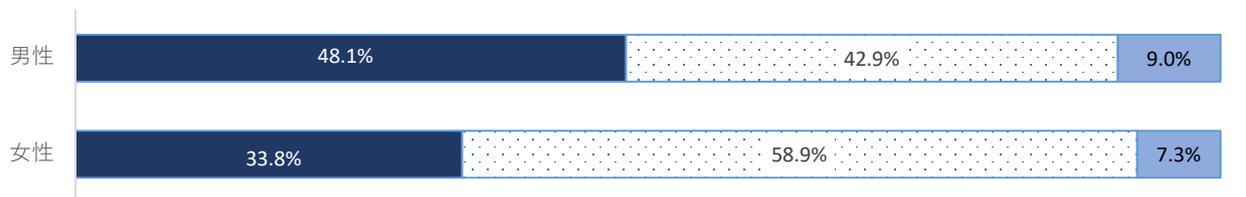
■ 知っていた □ 知らなかった ■ 子ども食堂の存在を知らなかった

年代別



■ 知っていた □ 知らなかった ■ 子ども食堂の存在を知らなかった

性別

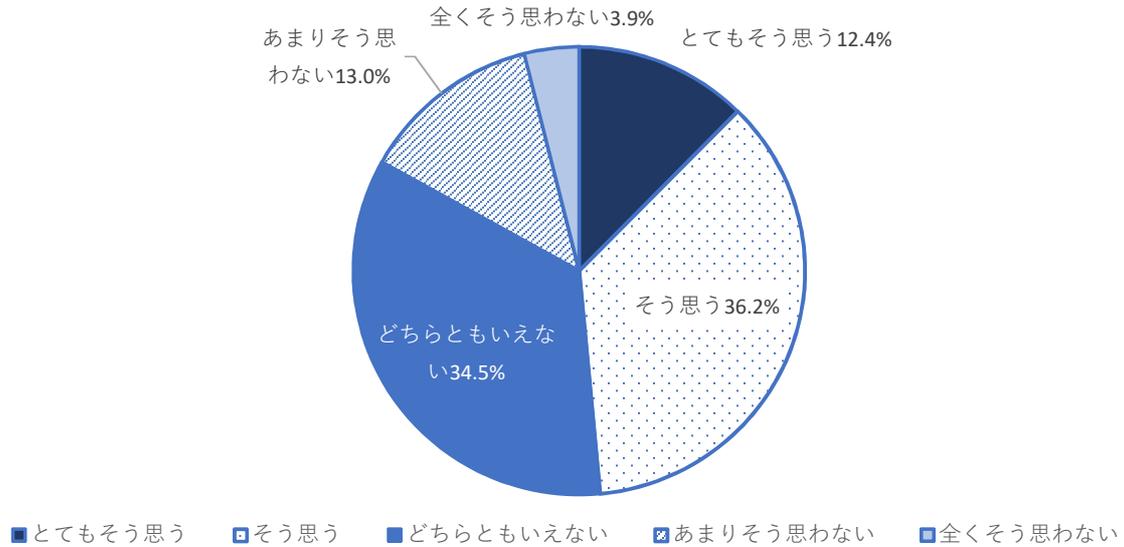


■ 知っていた □ 知らなかった ■ 子ども食堂の存在を知らなかった

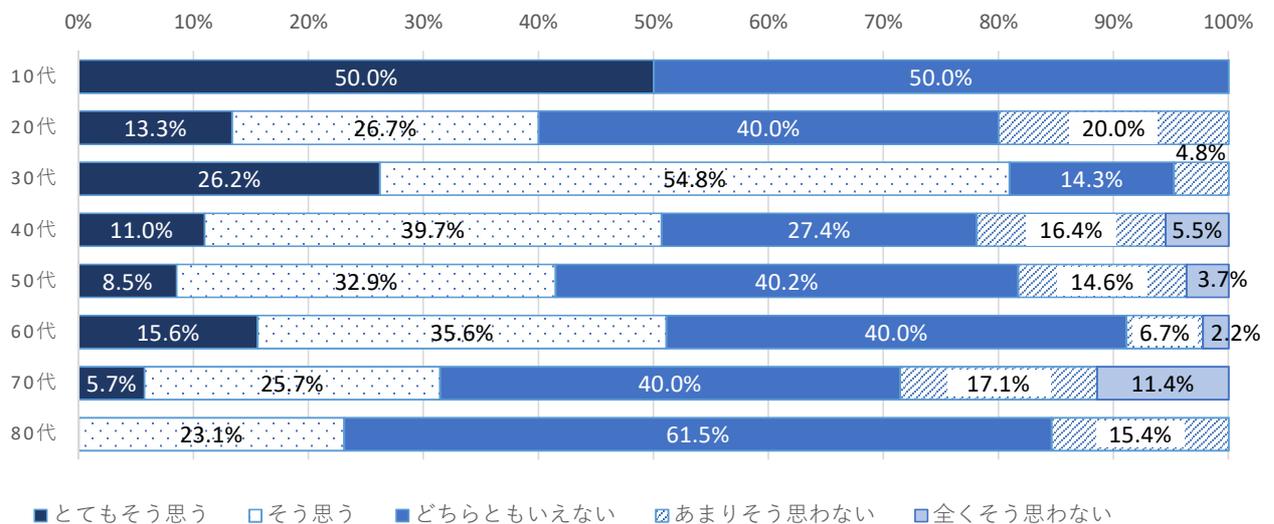
子ども食堂が貧困家庭向けの場所ではないことを「知らなかった」が50.8%で最も多かった。年代別では30代・40代の認知度が特に低く、約3割であった。性別では、男性の認知度が女性よりも14.3ポイント高かった。

問15 気軽に行ける距離に子ども食堂があれば行ってみたい・手伝ってみたいと思いますか？
(1つ選択)

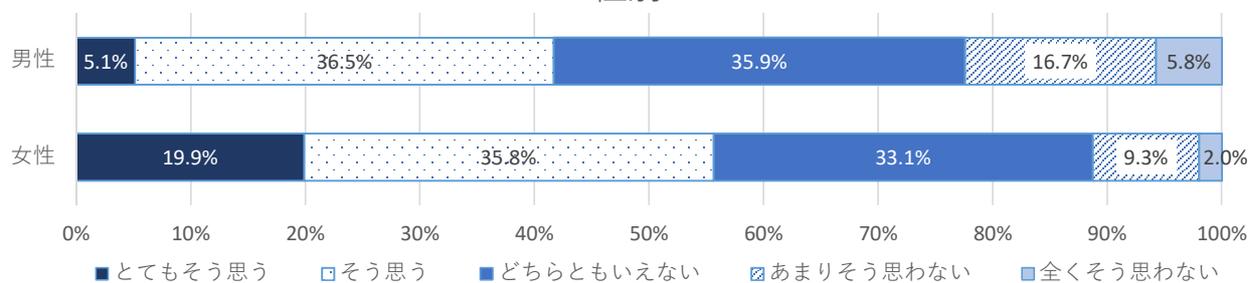
(回答者：307人)



年代別



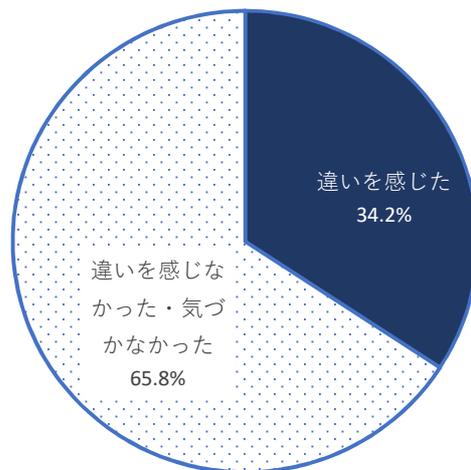
性別



特集記事を読んで、『子ども食堂に行ってみたい・手伝ってみたい』と感じた方は48.6%であった。特に30代は、『子ども食堂に行ってみたい・手伝ってみたい』と感じた方が81%と、他の年代と比較しても非常に多かった。

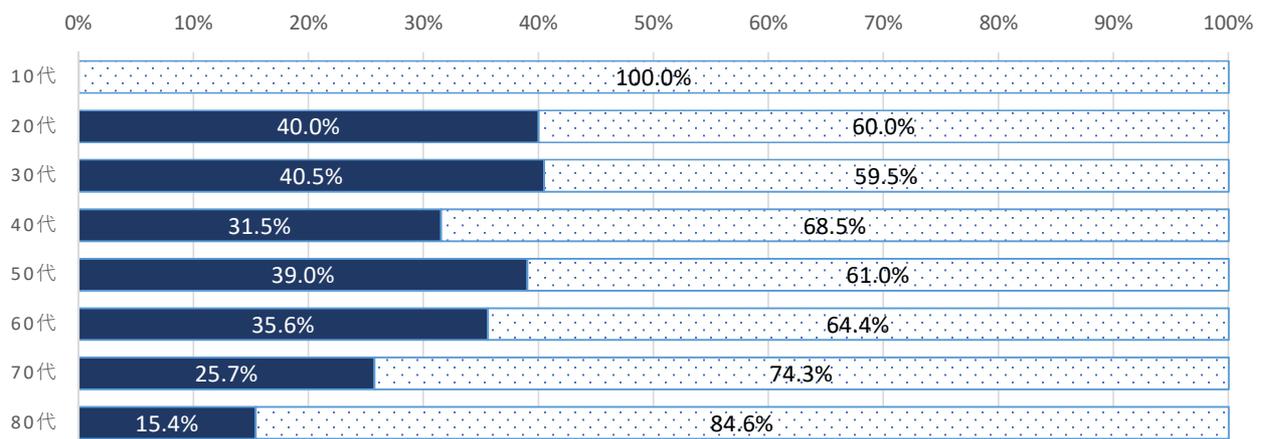
問16 この記事は民間事業者が作成しました。他のページとの違いを感じましたか？（1つ選択）

（回答者：307人）



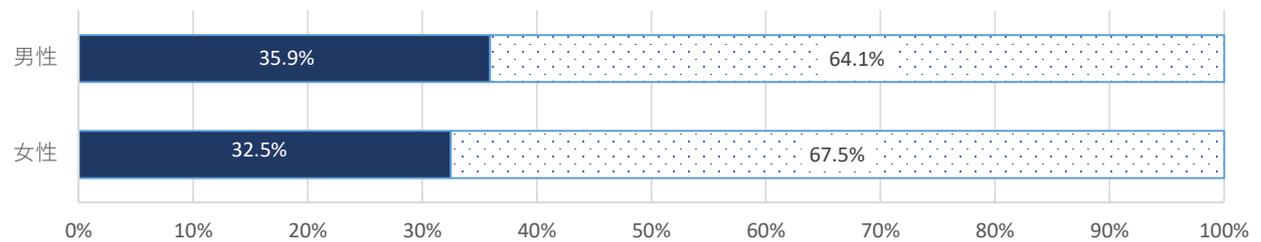
■ 違いを感じた □ 違いを感じなかった・気づかなかった

年代別



■ 違いを感じた □ 違いを感じなかった・気づかなかった

性別

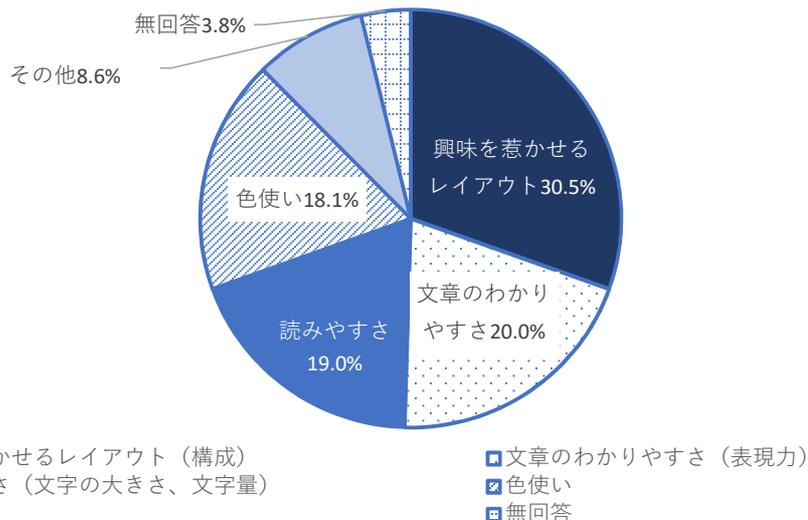


■ 違いを感じた □ 違いを感じなかった・気づかなかった

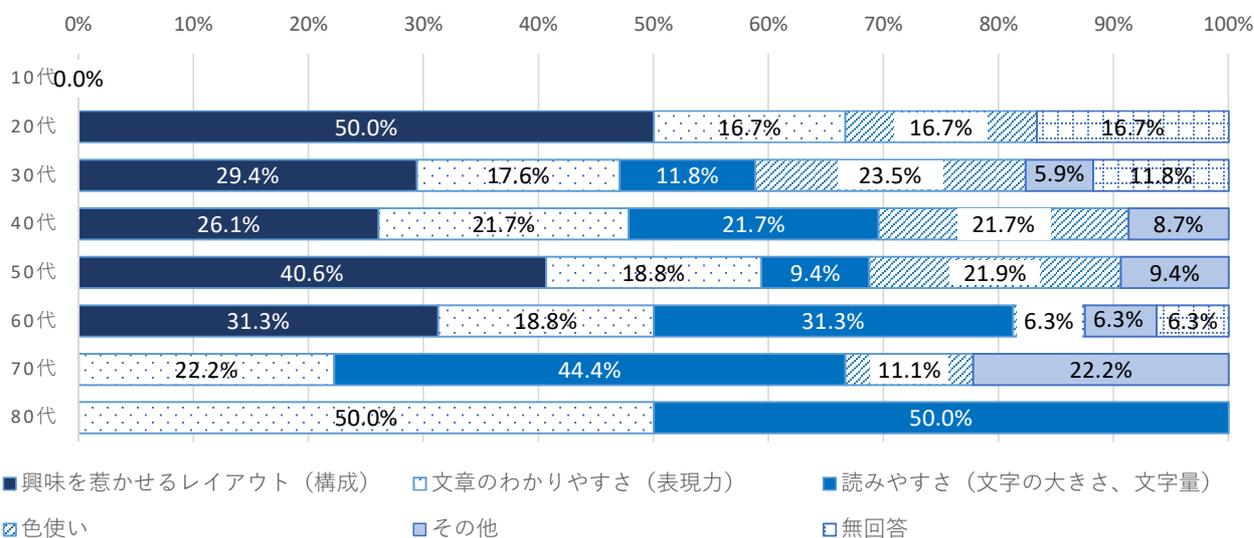
職員が作成した記事と民間事業者が作成した記事で、34.2%が「違いを感じた」と回答した。

問17 違いを感じた方にお伺いします。どういった点に違いを感じましたか？（1つ選択）

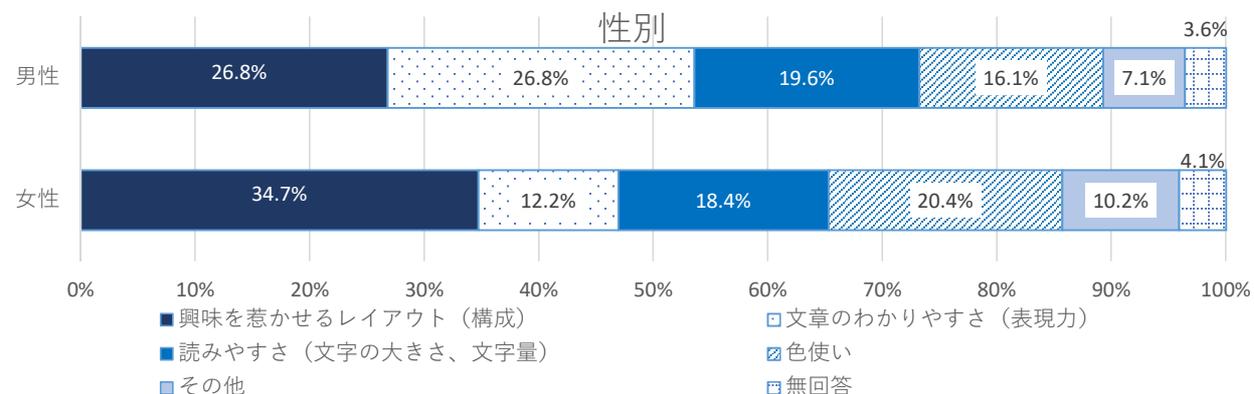
（回答者：105人）



年代別



性別



※「その他」を選択した方の主な意見

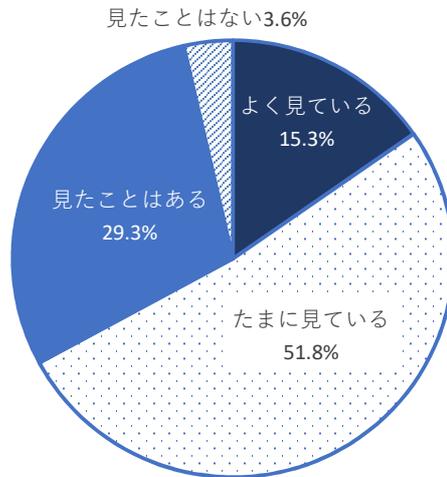
- ・記事の配置
- ・重要な文章への色付け
- ・写真の多用

違いを感じた点として「興味を惹かせるレイアウト」が30.5%で最も多く、次いで「文章のわかりやすさ」が20%であった。

第3章 ウェブサイトについて

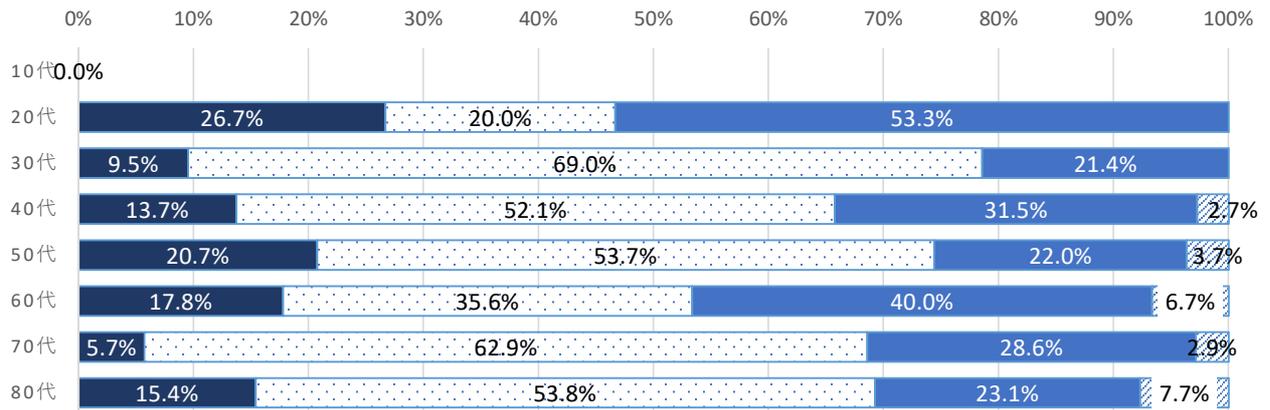
問18 市ウェブサイトを見たことはありますか？（1つ選択）

（回答者：307人）



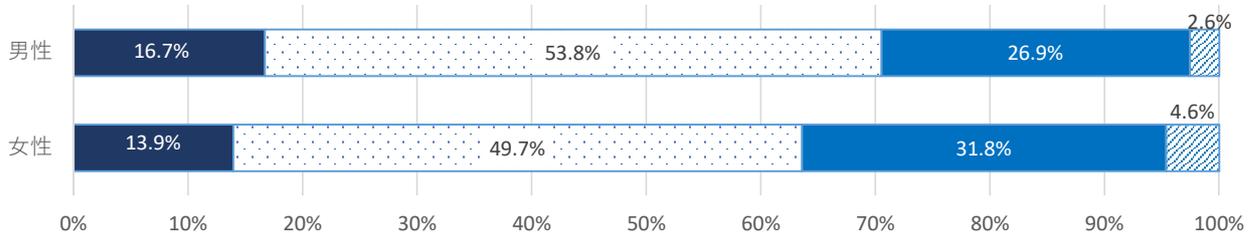
■よく見ている ■たまに見ている ■見たことはある ■見たことはない

年代別



■よく見ている ■たまに見ている ■見たことはある ■見たことはない

性別

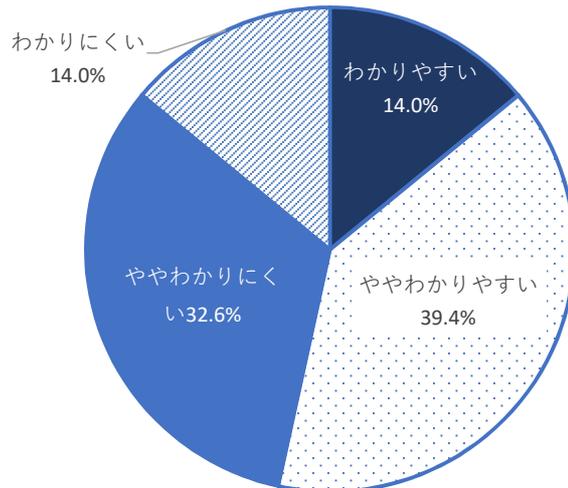


■よく見ている ■たまに見ている ■見たことはある ■見たことはない

市ウェブサイトについて、「たまに見ている」と回答した方が最も多く51.8%であった。市ウェブサイトを見たことがある方は、すべての年代で9割超となった。

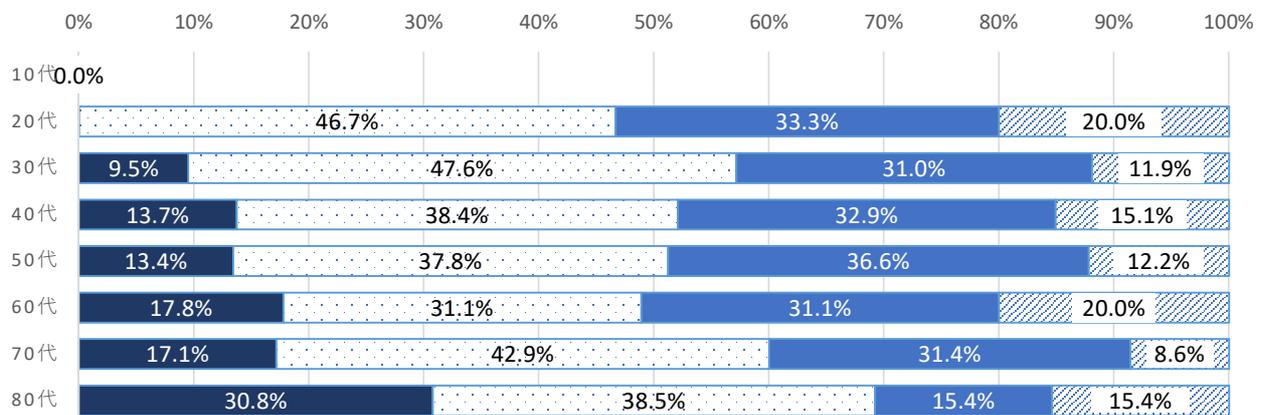
問19 市ウェブサイトはわかりやすいですか？（1つ選択）

（回答者：307人）



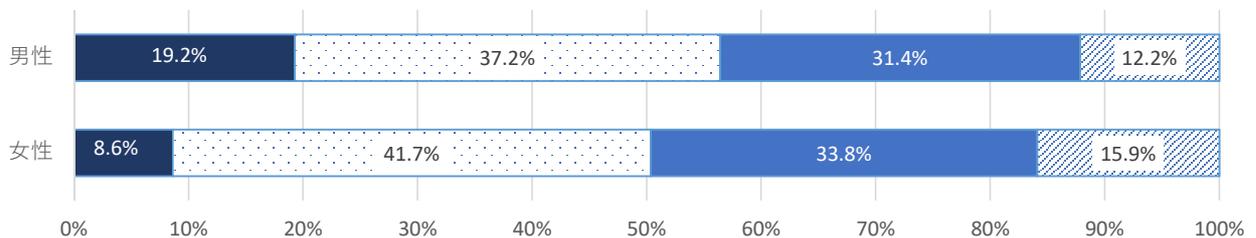
■わかりやすい □ややわかりやすい ■ややわかりにくい ▨わかりにくい

年代別



■わかりやすい □ややわかりやすい ■ややわかりにくい ▨わかりにくい

性別

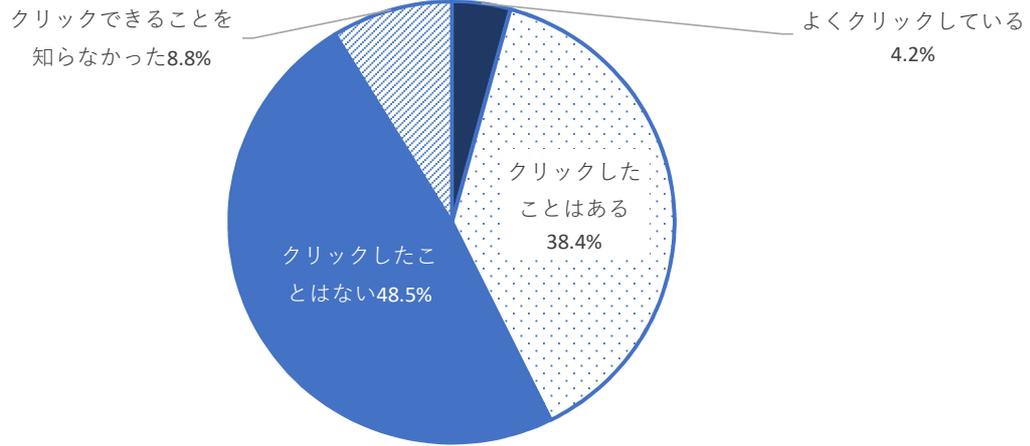


■わかりやすい □ややわかりやすい ■ややわかりにくい ▨わかりにくい

市ウェブサイトについて、「ややわかりやすい」と回答した方が最も多く39.4%であった。年代別では、すべての世代で4割以上が「わかりやすい」「ややわかりやすい」と回答した。一方で、半数近くが「わかりにくさ」を感じている。

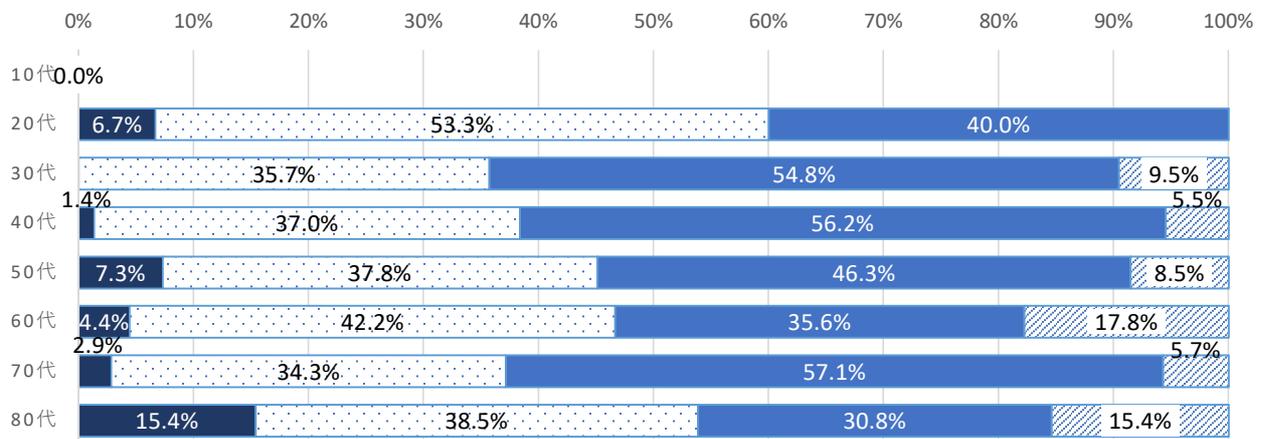
問20 トップページ最上部の大きい画像（スライドバナー）をクリックしたことはありますか？
（1つ選択）

（回答者：307人）



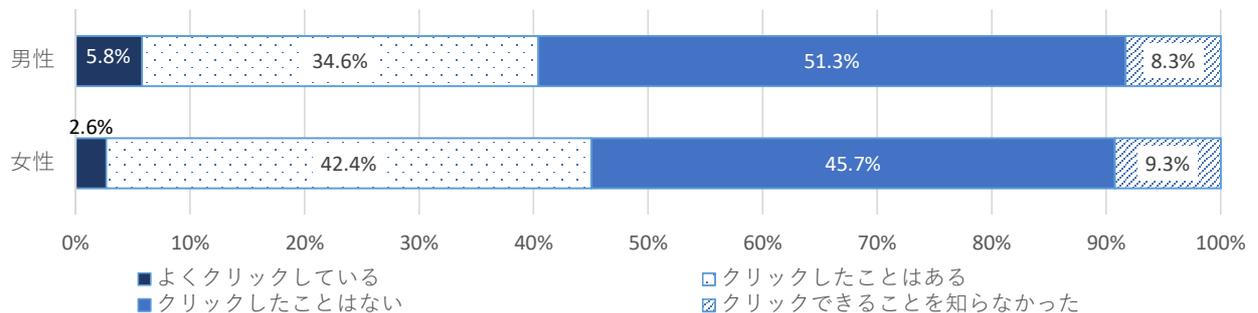
■よくクリックしている ■クリックしたことはある ■クリックしたことはない ■クリックできることを知らなかった

年代別



■よくクリックしている ■クリックしたことはある ■クリックしたことはない ■クリックできることを知らなかった

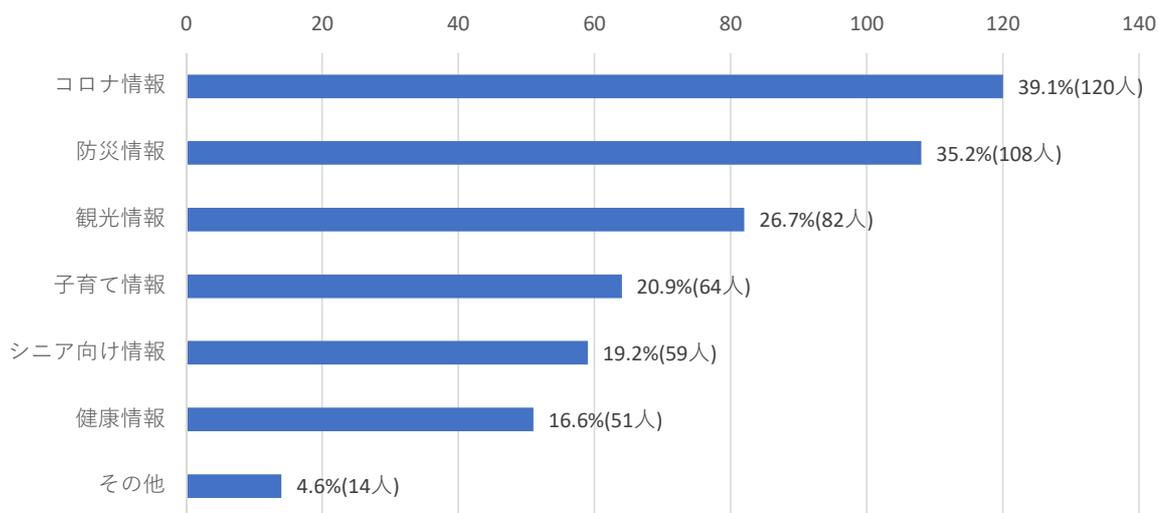
性別



スライドバナーについて、「クリックしたことはない」「クリックできることを知らなかった」と回答した方が全体の57.3%であった。最も「よくクリックしている」と回答したのは80代で15.4%であった。

問21 トップページが目立つところに表示してほしい項目は何ですか？（複数選択可）

（回答者：307人）



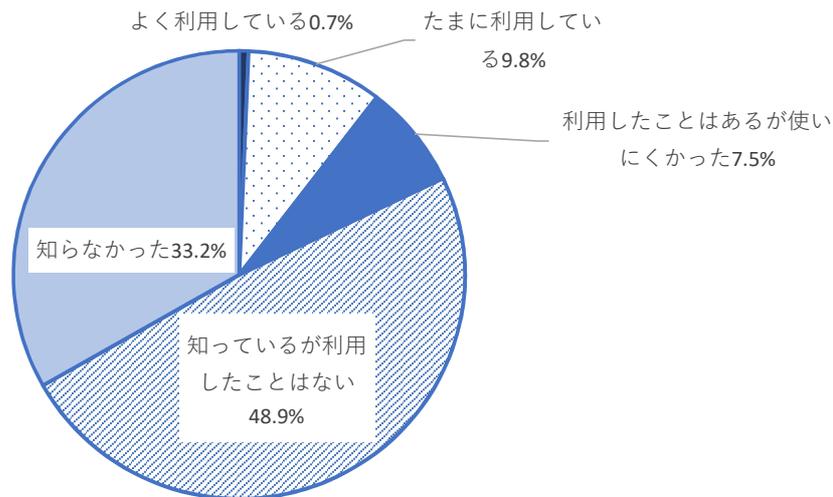
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・目次
- ・市内の犯罪・事故発生速報など
- ・市政情報公開、パブリックコメント
- ・特定の情報だけを目立つようにする必要はない など

「コロナ情報」が39.1%、次いで「防災情報」が35.2%であった。

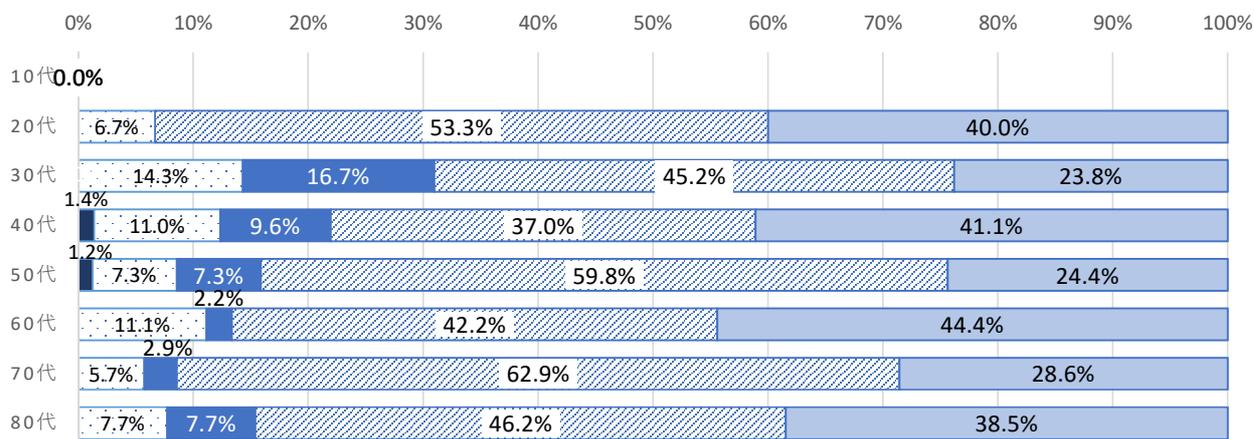
問22 チャットボット機能（教えて！がくとくん）を利用したことはありますか？（1つ選択）

（回答者：307人）



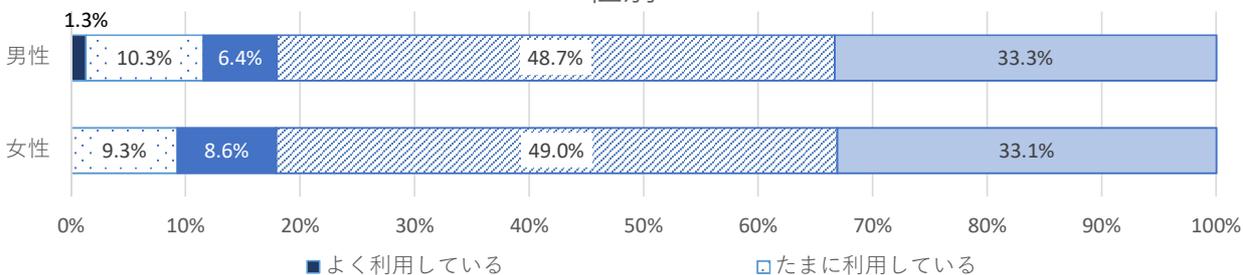
- よく利用している
- 利用したことはあるが使いにくかった
- たまに利用している
- ▨ 知っているが利用したことはない

年代別



- よく利用している
- ▨ 知っているが利用したことはない
- たまに利用している
- 利用したことはあるが使いにくかった
- 知らなかった

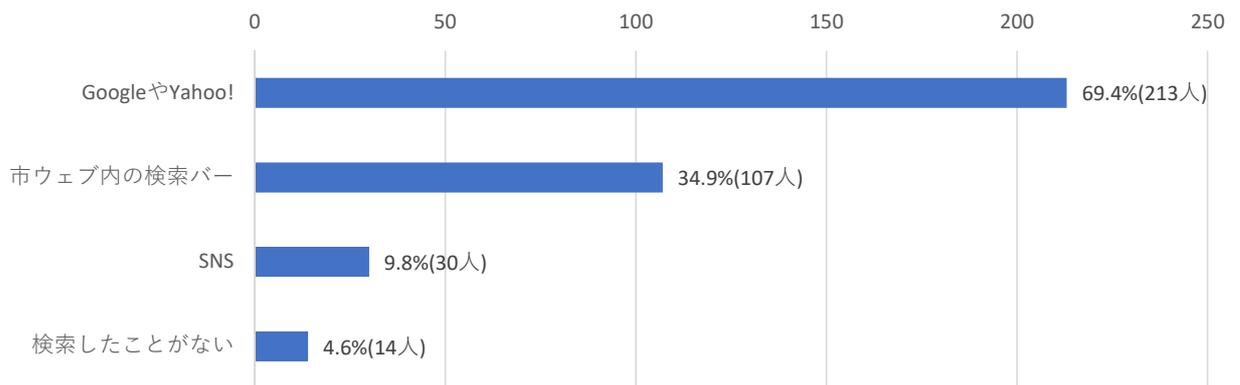
性別



チャットボット機能について、「知っているが利用したことはない」が最も多く48.9%であった。年代別では、30代以降は年代が上がるともに『利用したことがない』の割合が高くなる傾向がある。

問23 市の情報をインターネットで検索するときは、どこから検索していますか？（複数選択可）

（回答者：307人）

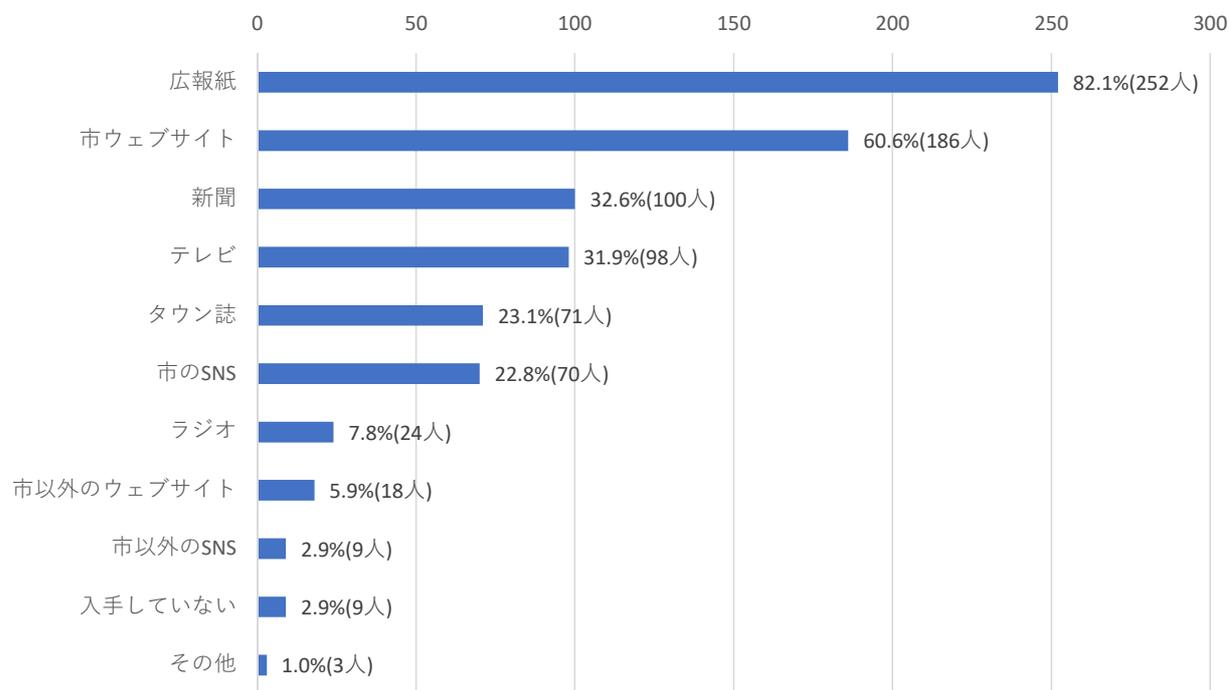


市の情報の検索方法としては、GoogleやYahoo!から検索する方が最も多く、69.4%であった。

第4章 メディア・SNSなど、その他について

問24 市政に関する情報は何で入手していますか？（複数選択可）

（回答者：307人）



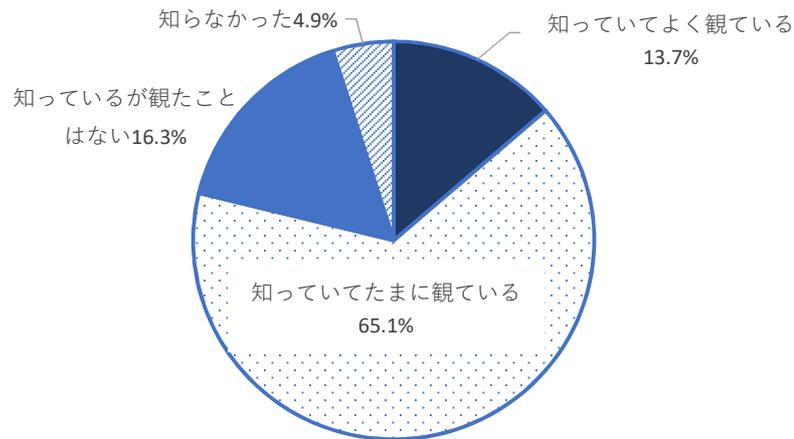
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 地方自治研究機構、総務省
- ・ 公民館等、公的施設

市政に関する情報収集手段は「広報紙」が82.1%、次いで「市ウェブサイト」が60.6%であった。

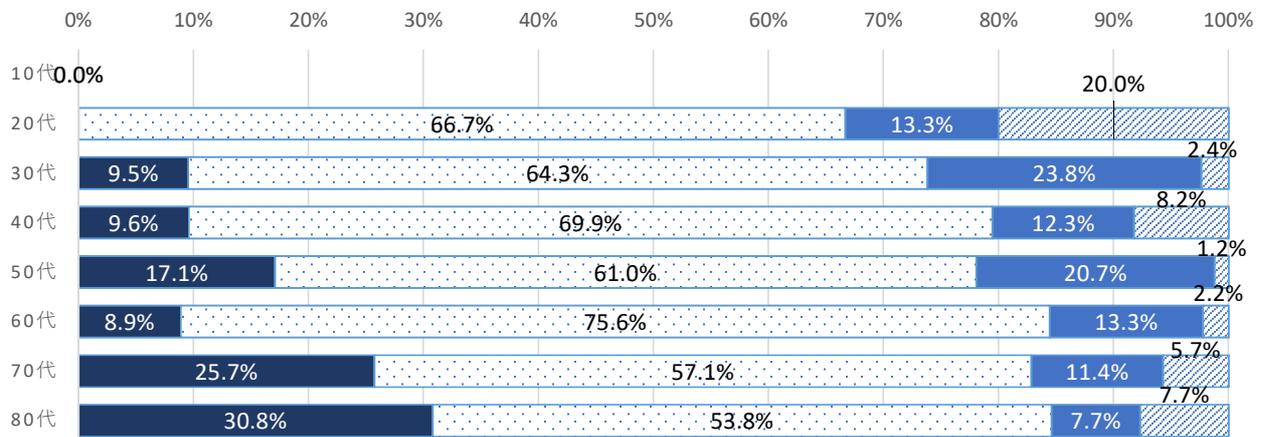
問25 テレビで毎週市政情報（週間トピックス ※）を放送していることを知っていますか？
（※民放テレビ4局で放映している市政情報番組）（1つ選択）

（回答者：307人）



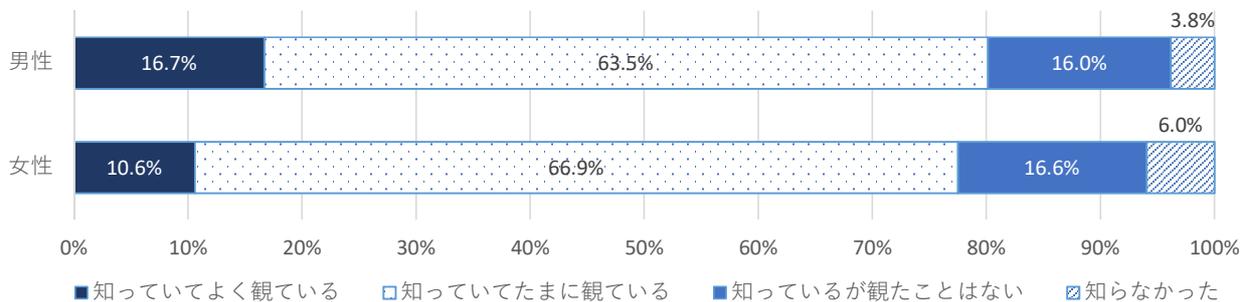
■ 知っているがよく観ている □ 知っているがたまに観ている ■ 知っているが観たことはない ▨ 知らなかった

年代別



■ 知っているがよく観ている □ 知っているがたまに観ている ■ 知っているが観たことはない ▨ 知らなかった

性別

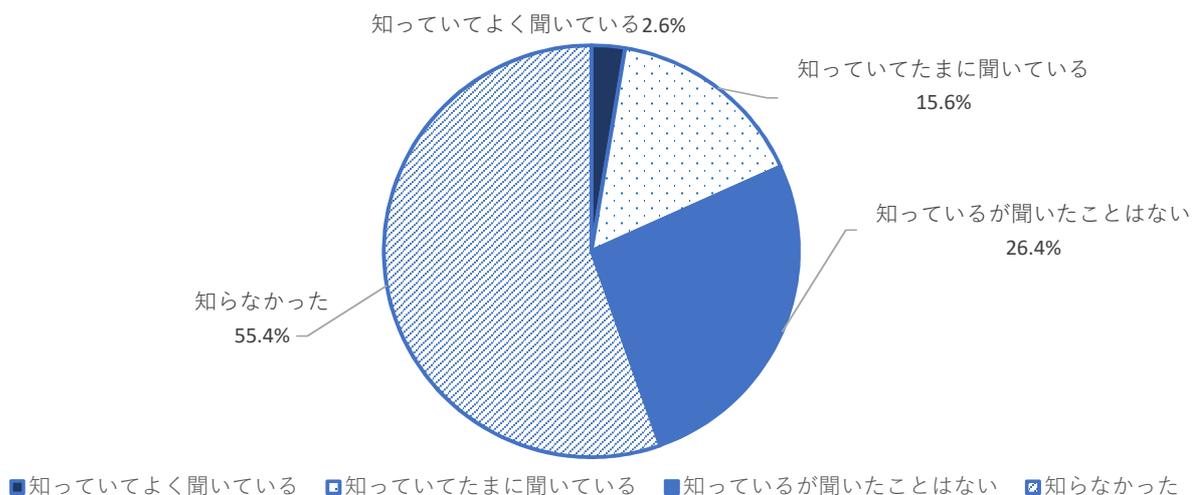


■ 知っているがよく観ている □ 知っているがたまに観ている ■ 知っているが観たことはない ▨ 知らなかった

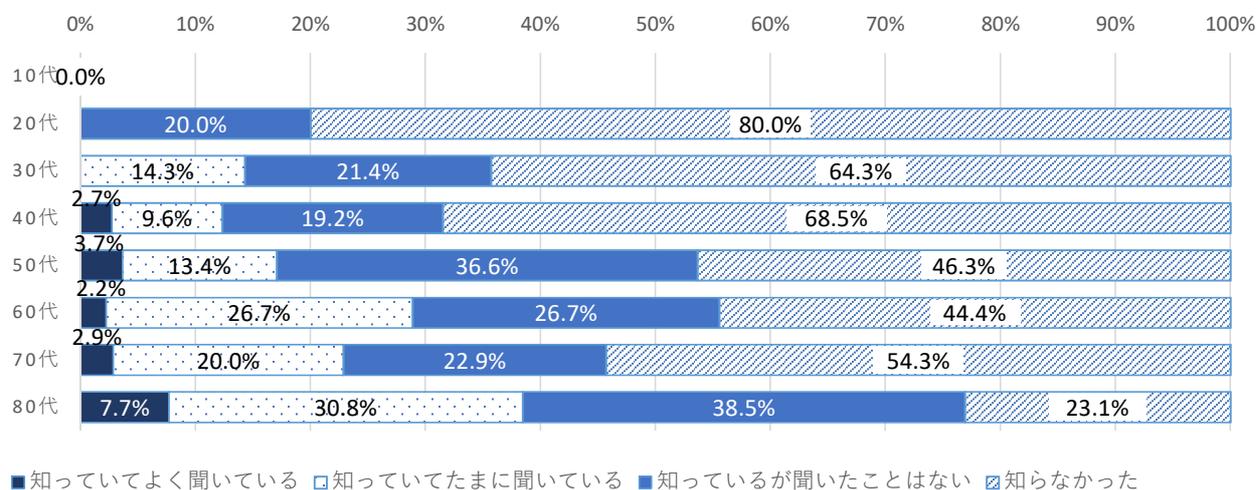
テレビの市政情報番組を「知っているがよく観ている」「知っているがたまに観ている」の合計は78.8%であった。年代別では、70代と80代の25%以上が「よく観ている」と回答した。

問26 ラジオで毎週市政情報（※）を放送していることを知っていますか？
（※民放ラジオ3局で放映している市政情報番組）（1つ選択）

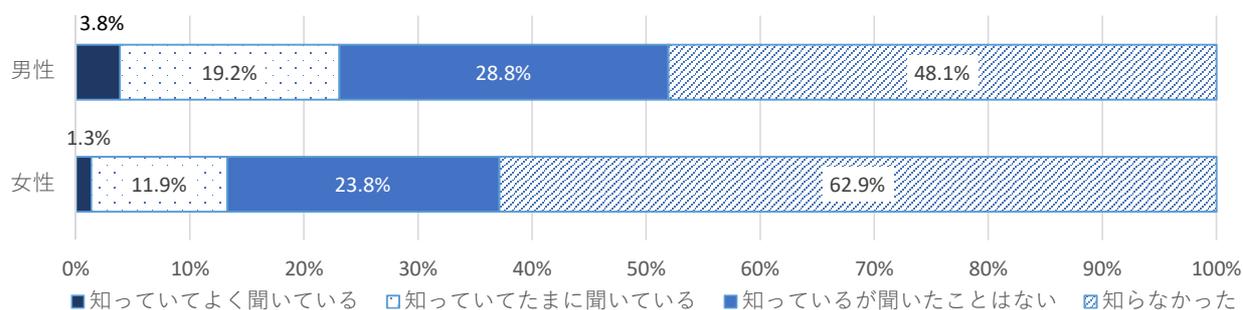
（回答者：307人）



年代別



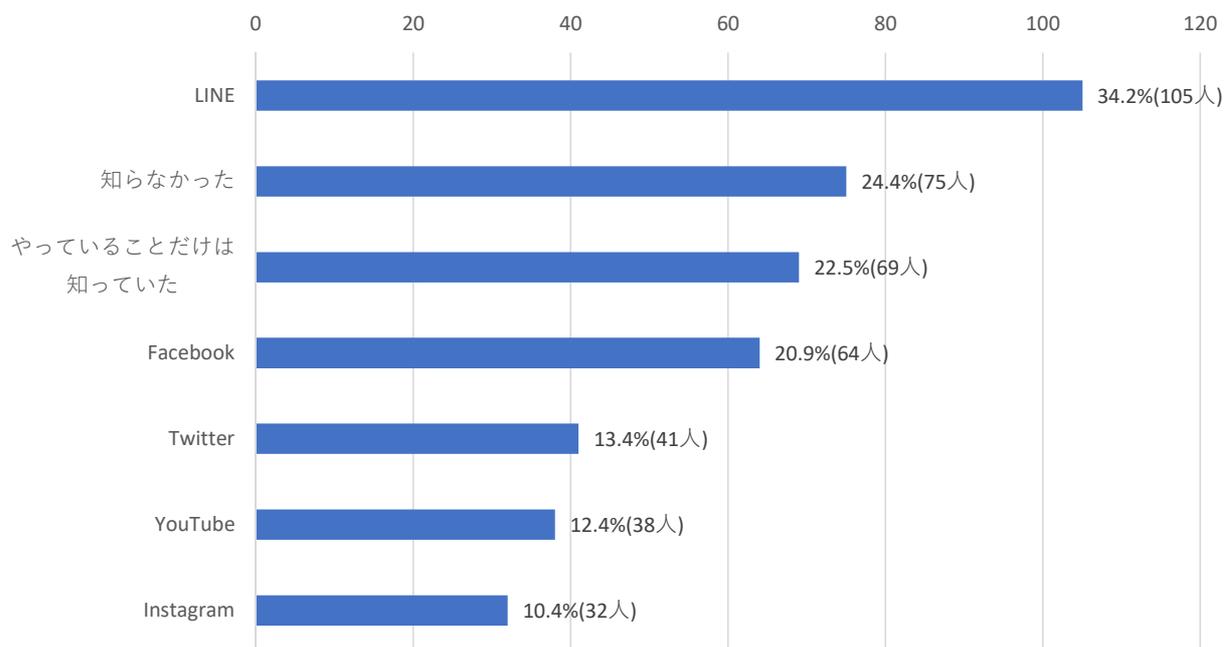
性別



ラジオの市政情報番組を「知っていてよく聞いている」「知っていてたまに聞いている」の合計は、18.2%であった。年代別では20代の80%の方が「知らなかった」と回答した。

問27 市公式SNSで配信している情報を見たことがありますか？（複数選択可）

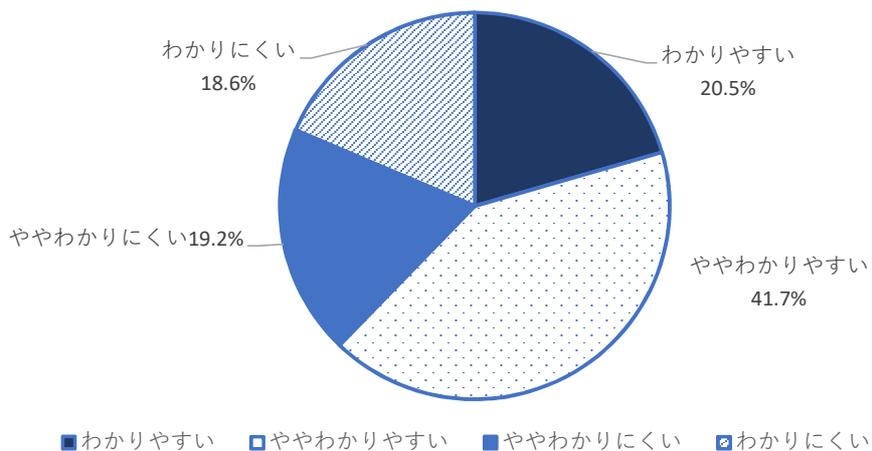
（回答者：307人）



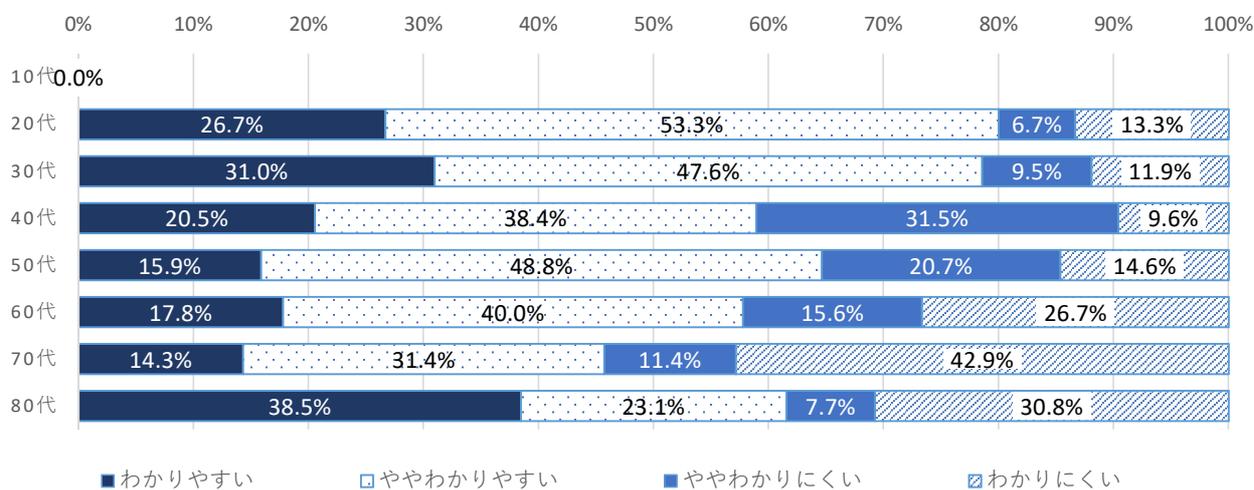
市のSNSで最も認知度があるのは「LINE」で、34.2%だった。次いで市公式SNSについて「知らなかった」と回答した方が24.4%であった。

問28 SNSで発信している情報はわかりやすいですか？ (1つ選択)

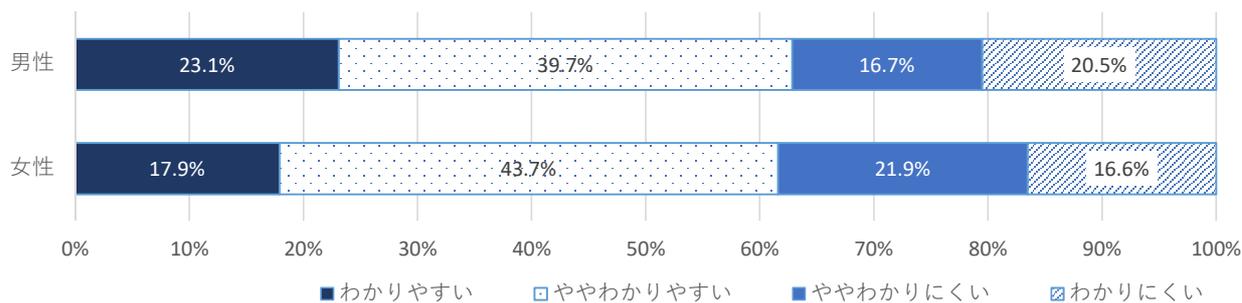
(回答者：307人)



年代別



性別



市公式SNSの配信内容は「わかりやすい」「ややわかりやすい」の合計が62.2%であった。年代別では、20代と30代の約8割が『わかりやすい』と回答する一方で、70代の5割が『わかりにくい』と回答した。

問29 その他、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

（回答者：60人）

【広報こおりやまについて】

・広報こおりやまは、毎月楽しみにしています。郡山の最新情報や、話題が載っており助かっています。QRコードもあるので、色々検索できます。WEBでも見られるので、移動先でも見られていいと思います。（50代・男性）

・広報活動は幅広い年代に郡山市の現状を伝える大切な活動だと思います。ただ、町内会を通じて全世帯に配布されてくる仕組みに少し違和感を感じます。PC,タブレット,スマホを利用している世代にとって紙での配布は不要と感じている人は少なくないはずです。こういったところからDX化を進めていってはいかがでしょうか？（40代・男性）

・災害時に市から送られてくるLINEに本当に助けられています。ありがたいことです。わたしは子育て終了しましたが、広報紙の子育て情報はとても見やすく、情報量も多く素晴らしいと思います。わたし自身本当にお世話になりました。今見返してみても楽しいです。子育てを頑張るお父さん、お母さんにもたくさん見て欲しいです。今後はお子さんが欲しい方への情報量を増やしていただけたらありがたいです。助成や相談機関、医療機関など具体的なものを望みます。（50代・女性）

・高齢者はやっぱり紙による情報が一番ありがたい。（80代・男性）

・広報紙の電子版ですが、パソコンやタブレットの大きい画面だと紙面と同様に読めると思いますが、スマホでは文字が小さすぎて読む気になりませんでした。アプリだと拡大縮小が上手く出来るのかもかもしれませんが、そのままブラウザで見ると拡大後に画面移動も出来ず読みたい所が読めないため読むことを諦めました。

情報がたくさん詰まっています。これを見れば必要な情報が書いてありそうだなということは分かりましたが、市が伝えたいことってなんだろう？と思って、探そうとするも情報が多すぎてまずそこで読む気が削がれました。

必要な情報は探しに行くので大部分の情報はタイトルとかトピックスで見出しを付けてもらってリンク付けてもらってリンク先に行く方が見やすいです。その広報紙で1番伝えたいことだけ情報記載してもらった方が読む気が出ます。電子版はそれが出来るし、そうでないと読まれないと思います。（40代・男性）

【市ウェブサイトについて】

・ホームページからの検索で、更に詳しく知りたい時に、答えが出てこないことがよくある。検索で知りたい情報が分かりやすく出てくると良いです。（50代・女性）

・市のウェブサイトは、一昔前よりは使いやすくなったと思います。目的の場所まで迷わず辿り着きやすくなったと思います。（40代・男性）

・普段調べたいことがある時には、検索エンジン経由ですが、目的の情報に飛ばなかったりするので、サイト内のチャットボット機能がより使いやすくなるなら、そこから検索したいです。（80代・男性）

【メディア・SNSについて】

・私の希望としては、郡山市に適した防災情報を提供していただけると助かります。書籍のように日本人全員に向けた内容ではなく、郡山市民だけに適した防災情報（または、郡山市民のみ適した内容）があれば、万が一の時に対処できると思っています。（20代・男性）

・アナログとデジタルの融合というのも大事ですね。紙面とネット環境の良いところを相互補完することを進めるべきです。意見を収集してからですが、紙面とネットで発信する情報を取捨選択していくのも手です。例えば、同じ情報でも、「詳細は紙面で」、「詳細はウェブサイトで」、「詳細は行政センターまで」のような扱い方でもいいのではないですか。

アナログとデジタルの役割分担をしてもいいのかと思います。ツイッターやフェイスブック等で情報の追加をしてもいいでしょう。多くの世代が情報を円滑に取得できるようにして情報格差が生じないようにすべきです。（50代・男性）

・市公式SNSをやっているのは知りませんでした。早速確認したいと思います。必要な情報がすぐ分かるようでしたら活用いたします。（50代・男性）